

## 会 議 録

会議の名称		つくば市産業戦略会議		
開催日時		令和4年1月25日 開会 13:00 閉会 15:00		
開催場所		オンライン(Zoom)		
事務局(担当課)		経済部産業振興課		
出席者	委員その他	伊神委員、石塚委員、神谷委員、木村委員、鈴木委員、仁衡委員、松信委員、茂木委員、野澤委員		
	事務局	大橋経済部次長、久保田産業振興課長、塚本産業振興課長補佐、石濱産業振興課長補佐、橋本産業創出支援係長、飯野企業立地推進係長、甲斐主任		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴数者	0人
非公開の場合はその理由		/		
議題		1. つくば市産業戦略進捗状況について 2. つくば市産業戦略重点プロジェクトについて		
会議録署名人		/		
確定年月日		/		
会議次第	1. 開会 2. 委員紹介 3. 議事 つくば市産業戦略進捗状況について つくば市産業戦略重点プロジェクトについて 4. その他 5. 閉会			

### 【1. 開会】

※開会に際し、事務局より簡単につくば市産業戦略策定の経緯や骨子について説明をした。

### 【2. 委員紹介】

※名簿順に各委員を紹介

### 【3. 議事】

※事務局から、つくば市産業戦略進捗状況について、資料1-1を中心に説明した。

・伊神:コロナということで、急いでやらなければいけない施策をやったところは評価したいと思う。心配なのが、今後世の中が、賃金をあげなければならないという方向のなか、各企業がとっていく行動として、大手企業も人を削る方向に行く可能性が高い。なぜかという、コスト高で人員整理が必要になる、というのが来年や再来年など深刻ではないのかなというのが懸

念としてある。なので、大手企業が抜けていくのも、収益体制を変えるために他へ移ってしまうというのがあるのだが、それを埋めるための施策を考えていかなければならないと思った。空き店舗補助金の件数は増えているとのことだが、もっと色々な事業を呼び込まないと、焼け石に水になってしまうのかなと。細かい産業の、今回アンケートをとった先の分類なども資料にあるが、どの産業に何を重点的にやっていくのかという部分がこの短い時間の説明のなかでは難しく伝わってきづらい部分もあるが、今後、負の部分をもどのくらい想定していて、施策でどれくらい積み増していくのかというのを定量的に把握して、施策としていれていく必要がある。

・事務局:事業承継の部分、重点プロジェクトの議事でもお話ししようと思っていたが、今回の事業承継のアンケートについて、実施した時点では、メインターゲットや職種などが全くない状態でアンケート送付を行った。というのも、これまで市に事業承継の相談がくるといったことがほぼ0であった。現在でも、アンケート対象企業以外からの相談はまずない。創業支援事業というのが、事業承継と同じで、10年前は市役所に相談がくるとは年に1度くらいであったが、今は毎日のように相談がある。そういう流れを事業承継でも作れないかということを考えており、事業者の皆様がどのくらい意識をもっているかも含めて率直に聞きたく、アンケートを実施した。実際、アンケート実施すると、業種も千差万別だった。今は15件あった、市から連絡がほしいという事業者へ個別に連絡をとっている状況であるが、今後は全体的なセミナーも含めて、個別支援に力を入れていこうと考えている。

・伊神:アンケートの追加送付が2100というのはどういうことか。

・事務局:第一弾として商工会会員3000社程度の送付したものの、回収率が伸びなかったため、改めて2100社後から送付した。

・伊神:そうすると、アンケートが返ってきた方の業種と、送付先の業種の差もあるかなと思う。業種によって悩みの深さややり方は様々で、人がいるのか、設備投資なのか、などあるので、まずは重点業種を決めてそこを深堀していく必要があるのかなと思った。

・事務局:重要な視点と思う。業種については、リードする文面を入れていなかったため、実際の産業分類と異なる業種で記載いただいた事業者もあった。必要度のレベルにもよって対応していきたいと思っている。改めて重点プロジェクトでその部分も触れたいと考える。

・石塚:ここ3年というよりもう少し長い期間みていて、特定創業支援が始まってから、つくば市からつくば研究センター(TCI)に創業相談が回ってくる例が増えた。4月からはスタートアップパークの運営も始まって、より思うのは、創業にあたってまずつくば市に相談に行く人がこ

んなにしているのだなと思った。特定創業支援が始まるまではほとんどそういう方はいなかった  
ので、市の創業支援 PR の賜物だと思う。当初から、一般創業は商工会、技術系ベンチャーは  
TCI、と分けて相談を受けてきたが、スタートアップパークの運営をするようになり、ベンチャ  
ー支援のなかで、大学生の創業を支援する機会も増えている。相談に来る人のなかでも、お店  
を開く方など、これは商工会のほうがノウハウあるのでは、という方もおり、商工会を紹介する  
のだが、大学生は商工会の場所までいくことが難しいというケースもある。今後まちづくり会  
社が動き出したら、そういった場所や、市役所で相談を受けられるようになっていくとよいか  
なと思う。スタートアップパークでは、スタートアップ向けのイベントがメインではあるものの、  
スタートアップに限らず聞いていただきたいものもある。こういったものを商工会会員向けメ  
ルマガなどがあれば、つくば市を中心に情報共有しながらすすめて、事業拡大や創業支援につ  
なげていければと思う。

・松信: 県内 42 の商工会があるなかで、つくばの特色なのか、創業セミナーは 50 名定員が埋  
まってしまう、お断りするような状況も出てきている。ベンチャー企業、大学生に対しても今後  
支援を広げていければよいと思っているので、是非 TCI、カスミ、様々な団体と連携して行っ  
ていきたいと思う。

・神谷: 進捗状況総括のなかで、意見というか感想になるが、コロナの間もずっと見てきて、事  
業のつなげかた、つながり方の観点からも相当創意工夫をされているというのが読み取れた。  
コロナのなかで進めにくい事業があったにもかかわらず、事業実施率が高い点は評価できる。  
更なる充実を図ることに期待したい。市長が掲げている、世界の明日をつくるまちというスロ  
ーガンのもと事業推進するなかで、特に人材が生まれるという観点から、つくばらしさを引き  
出す最も重要なカテゴリだと考えている。対象者のニーズにこたえるには、全庁で力を合わせ  
ることが必要不可欠。また、周辺市街地振興の観点からも、ここは是非注力していただきたい  
ところと考えている。定着するまち、という部分、これだけ新規事業の展開がされており、感動  
に値するものではあるが、最終的な落としどころとしては定住の促進や、雇用の充実を目指し  
ていくことが重要と感じている。

・事務局: 経済支援事業は神谷議員が議長時代に予算化させていただいた事業がほとんどで、  
議会の理解、協力があり、昨年度 13 事業、今年度 5 事業に取り組んでくることができた。感  
謝したい。市民経済委員会においても、産業、観光の第一の応援という形の議論をいつも展開  
いただいてありがたいと思っている。ご指摘いただいた雇用、定住の部分は今後我々も意識し  
ていかなければいけないということもあり、今回のチャレンジショップ事業において支援して  
いる事業者には、つくばへ移住した方の支援、筑波大学の現役学生の支援を実施している。こ  
ういった皆様が、つくばにおいてチャンスがあると捉え、今後も含めてビジネスを展開していく、  
住んでいただくところのきっかけ作りを支援していきたいと思っている。産業戦略会議の委員

としても、議会議員としても、協力いただけるとありがたい。

・木村:市の産業戦略を委員になってから改めてしっかりと拝見させていただいたが、スローガンが打ち立てられ、それを踏まえて様々な施策が展開されており、事業者に親身になった施策だがりだくさんと感じている。ただ、市のワンストップで相談を受けていて、事業者は情報が不足していると感じている。情報が不足しているというのは、市からだけでなく、商工会からもそうだが、広報誌等でしっかりと情報発信しているのに、きちんと受け止め切れていないと見受けられる。届いているが見ていない、という事業者側の問題もあるが、色々な施策が打ち上げられていても、届いておらず正直もったいない印象を持っている。なんとかそれを受け止めてもらえるような情報発信の場も必要となってくるのかなと思う。実際窓口にいっちゃう方の中で、事業者によっては商工会員になっていないケースもあり、経営相談は初めてした、今まで経営等の目線で話をしたことはなかった、とおっしゃる方もいる。そのため、窓口があって、何かあった際に気軽に相談できるというのはとてもよい。また、他の事業者で、コロナ関連などの新たな支援制度に関するお知らせなど商工会等から色々届いてはいるが、開いていない、というケースなどもあるので、事業者の情報を受け取るレベルアップも必要かもしれない。

また、コロナの影響でリアルの場が持てなかったというような施策もあったとのことだが、今後はオンラインも参加の選択肢のひとつだ、ととらえてほしい。その方がつくば市以外の方や、つくば市に関心のある方や、外国の方なども含めて参加しやすい機会ともなるので、そういったことも当然の場としてツールを整備していく必要があるのかなと感じた。

・事務局:我々も課題に感じていた部分をずばりご指摘いただいた。特に情報発信については非常に悩ましいところで、紙媒体、HP 等種々工夫して発信はしているが、どうしても全てを賄うところまではいかない、というのが正直。一方で、販路拡大補助金のようにあつという間に枠がうまる事業もある。これは、事業者がまさに今必要としている情報で、興味があるから情報にたどり着くのだと思う。市の web サイトもそうだが、いつみても代り映えしないと見る人もいなくなってしまうと思うので、タイムリーに更新するなど、職員のなかでも緊張感をもって取り組みたい。引き続き工夫してやっていきたいと思う。with コロナの施策についてのご意見は、コロナだからという言い方をしてしまった部分もあるが、コロナだからできなかったもの、コロナの中においては優先度を落としたもの、大きく分けて2種類ある。当然 web 会議を含めて、オンライン技術の向上により、オンラインの方がむしろ都合がよい、効率がよい面があり、継続してきたい部分もありますし、考え方としてもハイブリッドでやっていく必要もあるのだと思う。そこも含めて、今後の事業展開に取り入れていく。

鈴木:多くのテーマのなかで、次世代の人材育成というテーマに目が留まった。進捗についても C のものが多く、があまり進んでいないのかなあ、という実感を持った。また、外国人の受け入れ支援も行われているようだが、私は普段夜間中学校に勤務しているなかで、学校に 18

人の外国人の方がいらっしゃる、つくばで勤務している方もいらっしゃる。外国人の人材受け入れの支援や、小中学生への企業訪問なども今後具体的に行われていくのかな、思い、このあたりのことを少し聞きたいと思っている。

事務局：人材育成についてCの内容で、施策検討中のものが多いが、今現在したためているネタがあるわけではないという状況である。課題であると認識しつつ、着手できていないという状況である。一方で、留学生、外国人材の支援のなかで、昨年から筑波大学の担当セクションと打合せを始めている。外国人材のなかで、大きく2つあり、技能実習生、いわゆる労働力としてきている方、留学生含め高度人材としてこられるかた、それぞれ日本で働きたいという意思のある方は筑波大学にもいらっしゃると思っている。しかし残念ながら、市内での働き口がなく市外に行ってしまう状況だそうで、特に高度人材は、研究所に就職できる方はよいが、それ以外だと大手志向があるようで、特にIT系だと大手を希望してつくばを離れることが多いというお話をされていた。これまで我々も市内企業を知っていただく機会を持てていなかったということもあるので、今後は是非そういった機会を設けたいと考えており、筑波大学と調整している。中高から企業を知っていただく、市外から来た方に知っていただくという機会は大変重要だと考えており、計画年度のなかでなんとしても事業着手して実行していきたいと考えている。委員のなかでもアドバイスがあれば是非お願いしたい。

・仁衡：資料わかりやすくまとめていただきありがとうございます。激動の時代のなかで、5年間不変な産業戦略であるというのはありえないので、毎年軽微な修正が入っていくのだろうなと思っている。5年のうち2年が終わろうとしているなかで、見直しをかける時期にきている。Dの内容はしっかり棚卸する必要がある。ひとつは中止、これは悪い意味ではなく、様々な状況で無理なので中止という判断をする、もうひとつは継続して力をいれる、これは力を入れないと進んでいかないよね、でも進めていかないと、というもの。3つめは、新型コロナの影響であると整理して、収まり次第やると決める、という3択で決めていく必要があるのかなと感じている。

細かいところで、3点現場的な立場から申し上げたい。まずは人材の部分。現在、人材がとりにくい状況になっている。新型コロナ前までは大手よりも中小で働きたい方もいたが、新型コロナ以降、IT業界では大手志向が強くなったと思う。つくばの産業も中小企業が多くあって支えている部分があるので、是非つくば市から、市内の中小企業こんなのあるよと紹介するフェアみたいなものをオンラインなどで筑波大の学生が対象でもよいが、やってもらいたい。市内には研究者相手に様々なおもしろいことをやっている企業があるにも関わらず、それを知らない学生が多いと思う。こういったところを、市の力添えをいただきながらPRしていければと考える。次に、つくば市の特色を生かした戦略としていく必要があると思うのだが、それは体育学群、芸術学群といった特色ある人材をどう地元に残すかということが大事だと思っている。バイトなどでも構わないので、市内企業に学生さんに行ってください、どんどん知ってい

ただ橋渡しのような制度を設けられるといいかなと思う。地道なようで重要。スタートアップ施策も産業戦略に含まれると思うが、これも全国にスタートアップシティを打ち出している市も多いので、特色を出さないと埋没してしまうと考える。図らずもつくばでは、医療、スポーツの関係をやっているスタートアップが多いように思う。後付けでもよいので、健康スタートアップシティ、などそういったスローガンのようなもので特色打ち出してもよいかなと思う。最後に商業系の話だが、コロナの影響でつぶれてしまっているところが多い。これはおおごとだと思う。例えばお店に入ったとき、きちんと感染対策しているお店もあれば、カウンターにすし詰めなどのケースもあり、これは入らないとわからない。市で一定基準を設けて、安心店舗マークなどがあると嬉しいなと思っている。テイクアウトののぼりを作っていたのは外からわかってとても良いと思った。予算もそこまでかかる話ではないと思うので、是非検討していただけたらありがたい。

・事務局: コロナ対応のところ、全国的に言えばいわゆる山梨方式と呼ばれるものかと思う。茨城県ではご存じと思うが、いばらきアマビエちゃんを推進している。ただ、審査という審査はやっていないようにも思う。市でも2度3度巡回協力で県職員と一緒に見回りへいったが、非常に煙たがられてしまう。そういったこともあり、県もそこまで監視はしていないようにも見え、お店によってまちまちな対応となってしまっていると思われる。そうはいても、県に任せきりではなく、市でものぼり等々対応できるか考えながら感染症対策の部署と連携して進めていければと思う。

人材のところ、我々も体育学部や芸術学部などの学生がほしいと思う方がどのくらいいるのかということに興味を持って調査をしてきた。筑波大学等と意見交換するなかで、体育学部などでは、プロを目指しており、バイトでも構わないので競技を続けながら市内に残って仕事したいという学生もおり、そういう学生を受け入れる企業はないかと考えているという話を聞いた。我々としても働き方改革の時代において、時間は短くても労働力として力を発揮してくれる学生や、芸術学部の学生は、製品デザインはもちろんのこと、オフィスの空間デザインなどができる学生もいると考えており、需要があると思っており、採用に近づけるのではないかなと思ってアンケート調査を実施した部分もある。今後アンケートに基づき事業をやっていきたい。また、スタートアップ支援の部分では、市の事業で支援したリーパーはじめ事業拡大して大きく育っている企業もある。市内立地企業の中にはアステラス製薬をはじめとした大企業もあるので、そういった医療系のスタートアップや健康系のスタートアップがかけあわせられるとおもしろいのではないかなと思っている。双方のニーズ調査を実施してからはなるが、着手していきたい。Dの施策に関して、現段階で中止の判断にまで至る内容のものはないと考えている。確かに方向性を打ち出してはいなかったのですが、いただいたご指摘を踏まえて、力を入れてやっていくのか、コロナ収束後に動き出すのか、Dの施策については今後の展開をうたっていきたい。

・松信:商工会業務のなかで、あちこち伺って話をすると、つくば市の支援制度は素晴らしい、手厚いと評価されるケースが多い。小規模中規模事業者に対して、市の施策は手厚くなっているのかなと実感している。話は変わるが、これまでやっていたテクノフェア、つくば産業フェアもコロナの影響で中止となっており、これに代わるものがなにかないかと商工会内で議論しているところではあるが、なかなかこれといった案はない。商工会会員 3200 社あり、4割は法人会員だが、残りは個人事業主となっている。個人事業主であっても、独自のものを製造販売している方や、技術をもっている方もいる。これらの方の販路開拓として、全国の展示会(例:大阪の商工会議所で実施しているカイマッセ)の交通費や出展料などを商工会で予算化して支援したいと考えている。商工会では、経営革新事業、創業事業の2本立てでやってきた。令和3年度はこれに事業承継も柱としてもっている。色々と広報はしているのだが、相談者が少ないというのが悩みである。周辺地域は、商人のまちであったし、中心地でも職人のまちであったということもあるのか、跡取りがないのは見えていても、その先どうするのかを考えられる余裕がないと感じている。中心市街地イノベーション拠点整備について、コロナの影響があるなかで、TCI や大学、研究機関を含めて各種支援機関における協力体制を見直す時期にきているのではないのかなと思っている。商工会も経済部をはじめ市役所の各部署、コンベンション協会などと連携して事業を実施してきた。先ほどもご指摘があったとおり、商工会のアクセスがわかりづらい、行きにくいという意見もあり、看板を出していないこともひとつの要因ではあると思うが、関係機関のお知恵を借りたり、共同事業を実施したり、ということであれば、商工会館を中心地建ててつくば市の経済回復に寄与したいと考えている。

・事務局:産業フェアができていない、展示会が厳しいというのは肌感もっている。つくばものづくりオーケストラは今年度1回だけ実地開催できたが、出店者側も研究者側も反応がよく、展示会を欲しているのかなというところも感じた。一方で、オンラインの展示会だと厳しい部分もあり、リアルの方が効果はあるのかなと感じている。そういったこともふまえ、商工会の今後の動きは我々も注目していきたい。事業承継、中心市街地のところは市、商工会、つくばまちなかデザイン株式会社、TCI などもちろんそれぞれのところと協力して進めていきたい。

・茂木:ワンストップ相談窓口について、市に直接これだけ相談がくるのは大変珍しく、とても素晴らしいと思う。企業訪問が難しいといった話もあったが、経営者協会の調査や弊社の調査でも、茨城県内は全国と比べると、テレワークの実施率が低い。テレワークとオンライン面談と違う部分もあるかとは思いますが。県全体としては新しいものに消極的な姿勢があるのかな、と感じているところ。そのような中でも、スタートアップが多い、科学のまちであるご当地つくばは県内と比べて、新しいものを取り入れる姿勢があるというところが、市の特色となるのかなと思った。学生の採用や就活イベントのところ、オンライン化の話もあったが、県外への学生へのアピールとしてはよいと思う。体育や芸術の地元の学生を入れるのも特色が出て大変良い取り組みだとも思うが、もうひとつ県外への学生へのアピール、という部分でオンラインだとか

なり参加しやすくなるのではと思う。都内にいると、県内企業と出会える機会があまりなく、1社のためにつくばへ行くとなると交通費も嵩んでしまうので、複数社一気に出会えるというのは大変ありがたいなと思った。オンライン就活はこれまで取り組んでいたところもあると思うが、学生の方はオンラインでもよい、ではなくオンラインが普通、となってきたと思うので、これを機に学生向けのオンライン就活に力を入れてもおもしろいのではないかなと思った。

・事務局:ワンストップ窓口については、単に相談にくる方、補助金の申請に来る方や、産業振興課にこれまで融資や信用保証の証明申請のために多くきていた金融機関、これは、そういったところも全部一元化したため数字が大きくなっているところもある。ただ、結果として利便性が向上して、負担を減らすことができたのかなとは思っており、費用対効果があったと感じている。就職の部分で、県外への学生のアピールというところだが、リアル開催時には各社ごとにブースの設営などをしていてお金がかかっていた。その分の費用を広告へ回して、リスティング広告などを実施した。そうしたところ、都内の学生からも申し込みが増えたので、継続してやっていきたいと思う。ローカルな情報になるが、都内に学生が出ていったものの、帰ってきてほしい親御さんがおそらくかなりいるので、その層にリーチするため、カスミ様にもご協力いただき、スーパーのレジのところに就職フェアのチラシを設置した。すると就職フェアを知った理由として、親の勧め、という回答が結構あった。事業のPRの手法は、事業の特徴や地域の特徴もあるので、うまく判断しながらやっていきたい。

※事務局から、つくば市産業戦略進捗状況について、資料2を用いて重点プロジェクト1の進捗状況を説明した。

・野澤:神谷委員は事業をされており、承継を受けた経験もおありかと思うが、そのあたり踏まえてご意見があれば。

・神谷:この事業承継のアンケートは商工会を通じて実施したもののか。

・事務局:商工会+追加で2100件実施しています。

・神谷:その2100件の抽出の仕方はどのように行ったのですか。

・事務局:統計情報を国から頂戴し、補足資料1として追加配布した資料のなかにも記載しており、特に業種に偏りを持たせて実施したわけではない。

・木村:事業者の支援として事業承継まで計画されているのは非常に意義深い。当初、マッチングまで考えて計画してあったので大丈夫かなと気になっていた。今日の説明を伺って理解はし

たが、県や商工会との役割分担どうするのか、どこまでカバーするのか気になった。先ほどの説明であったように、事業者の情報を探すや、事業者の深堀に徹して、後はネットワークと連携して、事業承継センターにつなぐということであればよいと思う。マッチングまでは、今第三者承継が主流になってきているため、売り手と買い手のマッチングというのは市内のみで完結するのは正直難しい。市内事業者を評価し、企業価値を高めるのは市内でというより、他県からの方が興味をもってくれるケースもある。まずは事業者情報を把握して、ファーストコンタクトの部分というのは、支援者としてもデリケートな話題で入っていきづらい部分なので、行政がやってくれるとよい。マッチングまでいく前には、松信委員からもあったように、声をかけてもなかなか動いてくれないということもある。そのため、動機付けとして、事業者の意識を高めていくステップが必要。今だと税制面でメリットがあることをプッシュするのだと思うが、本来事でいうと新しい商品価値や企業価値、付加価値を高めることが動機であってほしい。なかなかそういうのも難しいとは思うので、意識を高めて今の経営資源を強くしていく、磨き上げをかける、そういう部分の支援をしていくのがよいと思う。対象としては、ネットワークで把握している事業者や商工会以外の事業者で、なるべく廃業されると従業員のケアなどが不十分になる、取引先に影響がある、といった事業者を強く支援していくのがよいのではないかなと思う。

・事務局:我々が当初描いていたのは非常に簡潔な話で、単純に廃業予定のお店に新規創業者をぶつけてマッチングさせる、あるいは廃業予定の和菓子屋さんに和菓子に参入したい人をぶつけていく、といったことを検討していた。が、専門的な話を色々聞くと、土業の方や金融機関が介入していく必要があることを学んだ。そのため市は情報提供に注力し、その先は承継ネットワークなどへつないでいく。ただ、我々も投げっぱなしにならないように、適宜フォローを実施していく。

・伊神:資料の読み方によって解釈が変わってくると思う。補足資料1の最終頁のグラフをみると、事業承継について特に考えていないのが47%、その下の設問で廃業予定、後継者について特に考えていないと答えた方の事業承継への興味というのが35%というのは前向きな視点を持っている事業者が多いといえるのか。前向きにとらえているというより、未来のビジョンが考えられていない経営者が多いことの方が問題だと思う。そこに根付いて何をしたいのかという夢や存在意義など、パーパスがないと捉えられる。これは重い。事業承継以前に、その事業自体、あなたは何がしたかったのかなと思う。事業は人生と同じで数十年で終わるのか、それとも長くやっていくべきなのか、など価値観は色々あると思うが、未来をしっかりと考えているのかな、と疑問。そこを芽生えさせることをやらないといけないのかなと思った。一意見だが。

・事務局:ここは非常に重要な視点。専門家の先生と話した際に言われたのは、まだ自分事とし

て考えていない人が多いのではないかと。まだ自分が若くて健康で、事業継続できるから特に考えていないのだ、と。ただ一方で、自分の商売を最終的には誰かにつないでほしい、と思っているようだ。そういった数字がここに流れたのかなど。これは予測ですが、我々としては、こういった方々にきちんと情報提供していくことが必要だと思っている。市ができる事業、先ほど出た事業者の話題も含めて、事業者意識のボトムアップを目指して、セミナー等を実施していこうとは考えている。そのメインターゲットはまさにご指摘いただいた層だと思っている。

※事務局から、つくば市産業戦略進捗状況について、資料2を用いて重点プロジェクト2の進捗状況を説明した。

・仁衡:資料にも記載されているが、申請内容が多岐にわたるため、寄り添った支援が難しいというのは、そうだよなと思う。寄り添った支援まではしなくても仕方ないというか、そこまではできなくてもよいのではないかと思う。認定するということは大変重要で、それは自社ではできないからである。自社でできることは自社ですべきであって、自社でできない認定を自治体等がしてくれるというのが大変ありがたい。認定し、公表してくれるだけで十分価値があるととらえている。是非継続してほしい。今年度の件数が少し寂しいなとは思いますが、どこも1年目に手持ちを出して、2年目以降が少し落ち着くというのは自然の流れ。累計で最終的に40件、50件とサイト等に認定を公表していくのが重要。

※事務局から、つくば市産業戦略進捗状況について、資料2を用いて重点プロジェクト3の進捗状況を説明した。

・野澤:石塚委員は TCI やスタートアップパークで様々なイベント等企画されていますが、参加者への情報発信や企画等で何か工夫されていることはありますか。

・石塚:今スタートアップパークのメルマガ会員が 1200~1300 名あり、そこにイベントの周知はしている。スタートアップパークはスタートアップにかなりよったイベントをやってほしいという意向があることは承知しているが、一方で思うのは、スタートアップを集めたイベントに工業団地企業の研究所などに来ていただける場があると非常によいと思う。またつくばのベンチャー、特に IT ツールなどを商工会会員に使っていただく、ものづくりを逆をお願いする、といった交流の企画をやっていければと考えている。研究所の研究者と商工会会員がいきなり交流するのは難しいとも思うが、そこにスタートアップ企業とかが入ると何か変わってくるかなとも思う。日々産業振興課とも、特定創業支援の関係では連絡をとっているが、そういった部分でも連携していけるとよいかと思う。今すぐのアイデアというわけではないが。それと、まちづくり会社ができたことで、そこに建物ができるとスタートアップに特化しないイベントもできるのではないかと期待している。そこで、商工会や TCI、スタートアップパークと組

んでイベントなどできるとよいのではないかと思っている。

・松信:商工会では一般のお店、商店や美容室などをやりたい、という方を支援するケースがほとんどなので、石塚委員が言われた科学工業的、ベンチャー的なものはあまりないので、今後どうなるかというところ。商工会事業の特色として、2月3月の確定申告時期には商工会会員約1000社の青色申告補助作業があり、どうしても現職員数だとそこまで手が回らない、というのが現状。

・石塚:4月以降でもよいと思っている。TCIによらず支援拠点が入っていて、その先生はつくばを中心にやられており、一部の先生は商工会にも創業支援等で入っていると思うので、あまり無理のない範囲で、例えばそういう方に協力いただきながら出来たらよいかなと思う。持続化給付金のセミナーをやるなとときに、スタートアップ企業と商工会員一緒にやるなどといった小さいところから連携していければと思う。

※事務局から、つくば市産業戦略進捗状況について、資料2を用いて重点プロジェクト4の進捗状況を説明した。

・鈴木:参考資料5の中で、体育学部芸術の学生採用に関するアンケートの回答率が良くないのだなと思っているのと、オンライン就職フェア出店企業対象のアンケートを見ると、外国人材の雇用状況がすごく低いのだなあというところを感じていて勉強になる。是非このプロジェクト長い目で継続してほしいと思っている。また、こういったつくばの独自性をもって組み合わせていくと更に発展していくのではないかと思う。

・事務局:外国人材のところ、大学の先生と話す中で聞くのは、日本語能力が採用に大きく関わるとの話。研究職の場合、受け入れ側も含めて、公用語として英語がある程度使える環境が整っていることが多く、採用される側も日本語能力が高い方が多く、そこまで問題はないが、そうでない場合に日常会話のレベルでもハードルがあることもあり、採用に結び付きにくいとのこと。大学側でも人材供給にあたって課題意識を持っており、どのレベルまで教育するのかを悩ましいとのこと。そのあたりがマッチングの上で壁になっていると思われる。

※事務局から、つくば市産業戦略進捗状況について、資料2を用いて重点プロジェクト5の進捗状況を説明した。

・茂木:冒頭で事務局からもあったとおり、圏央道の開通があってから、県南、県西地区はかなり物流関係の引き合いが多い一方で、従来入っていた事業者が抜けていく、というのが近隣自治体も含め課題だと思っている。先日久々につくばへ行ったら駅前の一等地でも抜けてい

る店舗があり、コロナの影響もあるのかなというように心配していた。一方で、不動産会社へヒアリングするとテレワーク関連の影響で、つくばへの移住者は増えており、住宅需要は確実に高まっている。サテライトオフィスまで行くかどうかというのもあるが、緑が多く商業施設等も充実しているという魅力をどのようにPRしていくのが課題。私も検討していきたい。

・野澤：石塚委員はTCIで各段階の入居企業がいると思うが、各企業が重要視していることなどお気づきの点があれば共有いただけるか。

・石塚：TCI施設も1年前はコロナの影響か、利用者の増室利用などで埋まっていて新規はほぼなかったが、今年度になってから新規入居企業の相談もくるようになった。当社の場合は研究室がほしいというお話が多いが、その施設がいっぱいになってしまっており、そこは県や市も検討していると思うが、駅近だとなかなか有害物質処理含めて難しい部分もあると思う。一方で民間企業がやると、大手が最初におさえて、地元中小企業に枠が残らないという課題もある。テレワークの関係で、スタートアップパークでも、都内などから事業ごと移転するか、セカンドワークとしてつくばへ来るか検討している利用者も多く、そういう方はこちらに知り合いがないので、まずスタートアップパークに来てみた、というケースが実感としても増えている。スタートアップやベンチャーは、安くて、駅に近くて、セキュリティもしっかりしている場所、という中々そういう場所はないよなと思われるところを希望する方が多く、難しい要求だなといつも思う。筑波大発ベンチャーは始めから東京にいるが、卒業生だから認定していたり、研究所発ベンチャーも近年は研究者が公務員住宅に住んでおらず東京に住んでいて、自宅登記した結果本社住所地東京になったり、というケースも増えている。市が場所を用意したからどうにかなることではない、と思う部分もある。もしあれば、というところで言うと、7~8年前に市有地や県有地の大きいところを区割りして地域企業に貸していこうという内容を検討していたかと思う。正直実現は難しいかもしれないが、広大な土地を広大なままでなく売り買いできると良いなと思ったりする。ただ実際それで建てる会社がどのくらいあるのかなという疑問はあるが。もう一つ、程よく小さい場所があれば、市内ベンチャー3社で割って使っているケースもあるので、そういった研究所の空き用地などの情報があれば、そういった考えもしているので、随時いただければと思う。

・事務局：工業団地の居抜きは出て行った場所が大きすぎて入居者が見つからず、撤退後数年たつと廃墟のようになってしまい景観的にもどうにもならないケースがある。遅ればせながらにはなるが、各企業のなかで、余っている、あるいは他の事業者に貸せる余剰スペース、特にウェットラボとして利用できる場所があれば教えてほしいという調査をかけている。回答によっては、既存のなかでもスタートアップ企業、ベンチャー企業が使える場所がある可能性もあるので、データとしてまとめたいと考えている。いずれにせよ、退去企業のスペースが大きすぎて、物流施設以外でほぼ決まらないという状態となっているので、そこを防ぎたい。

#### 【4. その他】

・伊神:ふるさと納税について、つくば市はどのように考えているのか。

・事務局:つくば市は残念ながら、出ていく方がはるかに多いという状況。つくば市としては、返礼品を協力していただける企業をピックアップしていくのが産業振興課として介入できる部分だが、正直そこまでリサーチできていないという状況がある。正直付加価値の高いものがあれば、収益として上がってくるのだとは思いますが、もしそのあたり知見やアドバイスなどあればお聞かせいただきたい。

・伊神:金額が大きいのので、何か知恵を集めた方が良いのではないかなと感じている。ここにいるメンバーで手が打てる話ではないと思う。もっと広く構造を変えるとか、その道でうまくやり方があれば手を打った方が良いのかなと思った。

野澤:5年で30億という支出があり、課題感を持っているので、適宜お気づきのことがあればいつでもお寄せいただきたい。

#### 【5. 閉会】

次回開催は予算への反映も考え、少し時期を早めて開催する予定。

# 第1回つくば市産業戦略会議 次第

令和4年1月25日(火)13時から  
オンライン(Zoom 使用)

## 次 第

### 1 開会

### 2 委員紹介

### 3 議事

つくば市産業戦略進捗状況について

資料 1-1～3

つくば市産業戦略重点プロジェクトについて

資料2、参考資料

### 4 その他

### 5 閉会

#### 【配布資料】

つくば市産業戦略会議名簿

資料1-1 テーマ別進捗管理表(分野 I～IV)

資料1-2 産業戦略全体管理表

資料1-3 産業戦略進捗管理総括

資料2-1～5 重点プロジェクト進捗管理

参考資料1 事業承継アンケート調査及びその結果

参考資料2 つくばクオリティ認定募集要項

参考資料3 物産品魅力度向上プログラム参加募集チラシ

参考資料4 Tsukuba 創業 Market チラシ

参考資料5 就職フェア出展企業アンケート調査及びその結果

参考資料6 工業団地内企業における事業用地等ニーズ調査及びその結果

以上

**【安定して事業を継続・発展できるまち】**

評価	S: 施策実行し、一定の成果があり、継続実施予定のもの	A: 施策実行し、成果評価中であるが、継続実施予定のもの	B: 施策実行し、継続実施にあたり改善が必要と思われるもの	C: 施策の内容について制度設計中のもの	D: 施策について未検討又は施策について見直しが必要であるもの
----	-----------------------------	------------------------------	-------------------------------	----------------------	---------------------------------

**テーマ: 既存事業者の経営を健全化する**

評価	S	S	S	S	B	C
実施/検討 新規/拡充	実施 拡充	実施 継続	実施 拡充	実施 新規	実施 拡充	検討 拡充
施策	中小企業経営力強化促進奨励補助金	経営安定化へ向けた金融支援制度	補助金関連の情報一元化	ワンストップ事業相談窓口(創業、事業承継等含め一元化)	コーディネーターによる企業訪問	創業から3~5年に対する保証施策化

**テーマ: 既存事業者の製品・サービス等の品質・認知度を向上する**

評価	S	S	S	S	A	S
実施/検討 新規/拡充	実施 拡充	実施 継続	実施 継続	実施 継続	実施 継続	実施 新規
施策	つくばコレクション	ふるさと納税返礼品	PRTIMES連携協定の活用	つくば産業フェア	各地物産展等出展支援	パッケージ開発支援

評価	A	C	D	D
実施/検討 新規/拡充	実施 新規	実施 新規	検討 新規	検討 新規
施策	つくばクオリティ認定制度	市民モニター等を活用した実証事業支援	インバウンドに対応した環境の整備	地域情報誌との連携

**テーマ: 最先端技術等を活用し既存事業者の生産性や業務効率化を促**

評価	A	S	A	C
実施/検討 新規/拡充	実施 拡充	実施 新規	実施 新規	検討 拡充
施策	先端設備等導入計画	公的助成金等の申請支援	IoT・RPA等最先端技術導入支援	キャッシュレス導入支援(中小企業経営力強化促進補助金の活用)

**テーマ: 既存事業者の販路を開拓して、受注機会を拡大する**

評価	A	A	A	A	C	C
実施/検討 新規/拡充	実施 継続	実施 継続	実施 継続	実施 拡充	検討 新規	検討 新規
施策	展示会出展支援補助金	販路開拓イベント	グローバルネクスト	海外販路拡大支援	各所が運営するECサイトとの連携	姉妹都市とのビジネス交流機会創出

**テーマ: 次世代へ事業を承継する**

評価		C	A	C	C
実施/検討 新規/拡充	実施 新規	実施 新規	実施 新規	検討 新規	検討 新規
施策	ワンストップ事業相談窓口[再掲]	支援機関での相談情報の共有	事業承継未定事業者の調査	継ぐスタの共催	廃業者再チャレンジ支援

**評価Dで次年度検討予定の施策**

<b>【地域情報誌との連携】</b>
--------------------

**課題がある施策とその内容(評価B又はC)**

<p>【キャッシュレス導入支援(中小企業経営力強化促進補助金の活用)】各補助制度とキャッシュレス導入支援との紐づけを模索中。                  【姉妹都市とのビジネス交流機会創出】姉妹都市の産業特性を調査し、ビジネス交流の可能性及び手法を検討。                  【支援機関での相談情報の共有】【継ぐスタの共催】【廃業者再チャレンジ支援】茨城県事業承継支援センターと連携した支援体制の構築を進めながら、支援希望者の掘り起こしや現経営者へ計画的な事業承継への取組みの必要性について啓発が必要。(重点1)</p> <p>■新型コロナウイルスの影響があった事業                  【企業訪問】県のフォローアップ事業としてのみ実施し、市単独の企業訪問は未実施                  【市民モニター等を活用した実証事業支援】集客イベント実施が難しかった(3月SCでクオリティ認定品体験イベントを実施予定)</p>
---

【新たにチャレンジできるまち】

評価	S: 施策実行し、一定の成果があり、継続実施予定のもの	A: 施策実行し、成果評価中であるが、継続実施予定のもの	B: 施策実行し、継続実施にあたり改善が必要と思われるもの	C: 施策の内容について制度設計中のもの	D: 施策について未検討又は施策について見直しが必要であるもの
----	-----------------------------	------------------------------	-------------------------------	----------------------	---------------------------------

テーマ: 新たなチャレンジの機運を高める

評価	S	S	A	C	D
実施/検討 新規/拡充	実施 拡充	実施 拡充	実施 新規	検討 拡充	検討 新規
施策	6次産業化の推進	イベント開催支援	新商品開発支援	各種ピッチ会の開催	クラウドファンด์実施支援

テーマ: つくば市の地域資源を最大限に活用してアイデアを創出する

評価	B	S	S	C	S	C
実施/検討 新規/拡充	実施 継続	実施 拡充	実施 継続	実施 拡充	実施 継続	検討 拡充
施策	市内企業のマッチング支援	交流サロンにおけるイベント実施	スタートアップパークでのイベント開催	提携連結・協業成果情報発信支援	ビジネスプランアワードへの参加支援	市内事業者情報の一元化

テーマ: 研究開発に取り組みアイデアをカタチにする

評価			A	C
実施/検討 新規/拡充	実施 継続	実施 新規	実施 新規	検討 新規
施策	ビジネスプランアワードへの参加支援[再掲]	市民モニター等を活用した実証事業支援[再掲]	新製品・新事業開発支援	知的財産取得支援

評価Dで次年度検討予定の施策

【クラウドファンด์実施支援】スタートアップパークを活用したセミナー等を開催

課題がある施策とその内容(評価B又はC)

【各種ピッチ会の開催】異業種交流とリンクさせながら行うことを模索。(重点3)  
 【市内企業のマッチング支援】リンカーズから受領した案件に対するマッチング率が低いと、活用プラットフォーム等を含め再検討。  
 【提携連結・協業成果情報発信支援】【市内事業者情報の一元化】事業者情報収集手法及び情報発信方法の検討。  
 【知的財産取得支援】知財関連で使える制度を整理するとともに、茨城県知財総合支援窓口との連携を検討。

【世界の未来をつくる新たな科学・技術・人材が生まれるまち】

評価	S: 施策実行し、一定の成果があり、継続実施予定のもの	A: 施策実行し、成果評価中であるが、継続実施予定のもの	B: 施策実行し、継続実施にあたり改善が必要と思われるもの	C: 施策の内容について制度設計中のもの	D: 施策について未検討又は施策について見直しが必要であるもの
----	-----------------------------	------------------------------	-------------------------------	----------------------	---------------------------------

テーマ: 新たに企業が進出する

評価	S	S	A	B	B	C
実施/検討 新規/拡充	実施 拡充	実施 継続	実施 継続	実施 新規	検討 拡充	検討 拡充
施策	空き店情報の集約および補助金の活用	つくばスタートアップパークの活用	事業用不動産物件情報連携協定	事業スペース・用地等のニーズ調査	新たな産業用地の確保	企業誘致補助

評価	C	A
実施/検討 新規/拡充	検討 新規	検討 新規
施策	中心市街地におけるイノベーション拠点整備	空き家を活用したオフィス利用支援

テーマ: 科学・技術・人材の交流によってイノベーションを創出する

評価	S	S	S	S	S	C
実施/検討 新規/拡充	実施 継続	実施 継続	実施 継続	実施 継続	実施 継続	実施 新規
施策	未来共創プロジェクトの実施	SDGsパートナーズの推進	社会実装トライアルの支援	近未来技術等の社会実装の推進	アクセラレーションプログラムの実施	交流会の開催

評価	A
実施/検討 新規/拡充	検討 拡充
施策	近未来技術実装エリアの整備

テーマ: 市内で新たな創業者が誕生する

評価	S	S	S	S	C	C
実施/検討 新規/拡充	実施 継続	実施 継続	実施 継続	実施 継続	検討 新規	検討 新規
施策	創業支援等事業計画	チャレンジショップ	新規創業促進補助金	スタートアップセミナー等の実施	スタートアップビザと連動した外国人創業支援	創業1年以内の事業者への保証施策

評価Dで次年度検討予定の施策

なし
----

課題がある施策とその内容(評価B又はC)

【創業1年以内の事業者への保証施策】茨城県新規創業支援融資に係る保証料補助を検討中だが、創業間もない事業者が必要としている支援についてニーズ把握が必要。  
 【交流会の開催】スタートアップパークでの定期開催イベントにおいて、既存事業者も気軽に交流できるような場を作り、交流を図る。(重点3)  
 【スタートアップビザと連動した外国人創業支援】外国人創業にあたっての配慮事項や支援制度をまとめた外国語ガイドの作成、外国語対応の創業支援について対応を整理する。  
 【事業スペース・用地等のニーズ調査】2021年度は工業団地内企業へのニーズ調査を実施。2022年度は、全国の企業情報を保有する専門事業者に委託してのニーズ調査を実施予定。(重点5)  
 【新たな産業用地の確保】地域未来投資促進法を活用することが可能か調査中。  
 【中心市街地におけるイノベーション拠点整備】学園地区市街地振興課等と継続して情報共有を図りながら、必要施策について検討する。  
 【企業誘致補助】オフィス賃料補助の制度設計を進めており、2022年度からの実施を予定。

**【地域産業人材が集まり・定着するまち】**

評価	S: 施策実行し、一定の成果があり、継続実施予定のもの	A: 施策実行し、成果評価中であるが、継続実施予定のもの	B: 施策実行し、継続実施にあたり改善が必要と思われるもの	C: 施策の内容について制度設計中のもの	D: 施策について未検討又は施策について見直しが必要であるもの
----	-----------------------------	------------------------------	-------------------------------	----------------------	---------------------------------

**テーマ: つくば市で働く次世代人材を育成する**

評価	B	C	C	C	S
実施/検討 新規/拡充	実施 新規	実施 新規	検討 新規	検討 新規	検討 新規
施策	人材育成支援	高校生・大学生向けキャリア形成支援企業ネットワークの形成	科学技術週間と連携した市内企業公開	小中学生向け市内中小企業訪問	小中高生向け起業セミナーの実施

**テーマ: 若者が地域に定着化(職・住)する**

評価	S	A	A	A	C	B
実施/検討 新規/拡充	実施 拡充	実施 新規	実施 新規	実施 拡充	検討 新規	検討 新規
施策	就活イベント、採用力向上セミナー	就労ニーズの調査	市内企業インターンシップ支援	事業者紹介情報の発信	高校生・大学生・U・Iターン者向け事業者紹介	UIJターン就職者支援

**テーマ: 多様な人材の就労機会を創出する**

評価	S	S	C	D
実施/検討 新規/拡充	実施 継続	実施 新規	実施 新規	検討 新規
施策	就労支援(ハローワーク連携)	雇用相談	外国人材受入支援	シニア受入支援事業

**テーマ: 離職率が低下し、従業員が定着する**

評価	B	A		A
実施/検討 新規/拡充	実施 新規	実施 新規	検討 新規	検討 拡充
施策	人材育成支援	テレワーク・時差出勤等導入支援	IoT・RPA等最先端技術導入支援【再掲】	多様な働き方の促進

**評価Dで次年度検討予定の施策**

【シニア受入支援事業】生涯学習推進課で「50歳以上の方とシニアのための就職セミナー」を実施しており、産業振興課としてどのような支援が必要か検討する。

**課題がある施策とその内容(評価B又はC)**

【人材育成支援】ワンストップ相談窓口において支援中であるが、商工会等と連携した取組み(セミナー・研修会等)について検討する。  
 【高校生・大学生向けキャリア形成支援企業ネットワークの形成】2021年度就職フェアの出展企業に意向調査を実施したため、その結果を今後の制度設計につなげる。また、株式会社マイナビが高校生の大学卒業後のUターン・地元就職につなげることを目的として、高校生が地元企業の魅力や仕事を学習する事業を実施しており、市としても受入企業の募集等に協力している。(重点4)  
 【高校生・大学生・UIJターン者向け事業者紹介】2020年度から就職フェア参加者対し事前にWEB上で事業者情報を公開しているが、採用対象を詳細に分類していないため、今後採用対象の分類方法を検討する。  
 【外国人材受入支援】筑波大学と連携し、企業への留学生に関する情報共有の場を設けることを検討する。  
 【科学技術週間と連携した市内企業公開】IoTやクオリティ認定事業者等と、時期として可能か、公開できるものがあるか等協議する。  
 【小中学生向け市内中小企業訪問】生涯学習推進課で行っている「つくばちびっこ博士」事業とのコラボを模索する。

【進捗度】 2:実施 1:実施(課題あり) 0:実施なし

施策テーマ		実施事業		事業概要	R2	R3	R4	R5	R6
既存事業者の経営を健全化する	実施	拡充	中小企業経営力強化促進奨励補助金	経営革新計画又は経営力向上計画の、策定又は実行に対し補助金を交付します。対象経費に応じて補助金額の拡充を検討するとともに、同補助金の活用促進を図るべく、中小企業への啓発を強化します。	2	2			
	実施	継続	経営安定化へ向けた金融支援制度	自治金融制度として、市内において同一事業を1年以上営んでいる事業者に対し、保証料補助と36か月の利子補給を行います。また、セーフティネット保障認定として、経営の安定に支障が生じている中小企業者について保障限度額の別枠化等を行います。	2	2			
	実施	拡充	補助金関連の情報一元化	市制度以外を含めた市内事業者が活用できる補助金情報を集約し、一元的に情報発信します。	2	2			
	実施	新規	ワンストップ事業相談窓口（創業、事業承継等含め一元化）	事業や経営に関する支援体制を構築し、総合相談窓口を市に置きます。市職員および中小企業診断士を常駐させ、各種支援制度の紹介や融資、公的助成金の申請支援、事業承継等、経営課題を含めた事業者からの幅広い相談に応えます。また、国等の研究機関や大学をはじめ、県の産業技術イノベーションセンター・いばらきサロンおよび中小企業テクノエキスパート派遣（いばらき中小企業グローバル推進機構）等と連携した経営支援を実施するとともに、定期的に専門家（社会保険労務士等）による、相談会を実施します。	2	2			
	実施	拡充	コーディネーターによる企業訪問	産業技術コーディネーターが市内企業を定期的に訪問し、情報収集を行うとともに各事業者が抱える課題に応じて必要な情報提供を実施します。	1	1			
	検討	拡充	創業から3～5年に対する保証施策	茨城県の創業支援融資を受けた事業者に対し、保証料の補助を実施します。	0	0			
既存事業者の製品・サービス等の品質・認知度を向上する	実施	拡充	つくばコレクション	市内の優れた物産品を認証し、認定事業者の販路拡大を支援します。	2	2			
	実施	継続	ふるさと納税返礼品	市内物産品の詰合せをふるさと納税の返礼品とすることで、認知度向上に寄与します。	2	2			
	実施	継続	PRTIMES連携協定の活用	PRTIMESでの市内事業者のプレスリリースを、半年間3本まで無料で配信します。	2	2			
	実施	継続	つくば産業フェア	市内の商品や農産物等を広く市内外に紹介するとともに、相互交流の場を創出します。	0	0			
	実施	継続	各地物産展等出展支援	市外において実施する物産展や、技術展示会を斡旋します。	2	2			
	実施	新規	パッケージ開発支援	つくばコレクション等の魅力をさらに向上させるため、デザインやマーケティング等に関する専門家による助言をもらえる場を提供します。	0	2			
	実施	新規	つくばクオリティ認定制度	市内の優れた技術や製品を認証する制度を新設し、PR等を行うとともに、その一部を試験的に購入し評価を実施することで、販路拡大を支援します。本事業は、第6章に記載する重点プロジェクト「(2)市内事業者をつなぐつくば市認定プロジェクト」の一環として実施します。	2	2			
	実施	新規	市民モニター等を活用した実証事業支援	市内でのイベント開催時、市内事業者の製品や技術を市民に体感してもらい、認知度向上を図るとともに、製品に対する意見収集の場を提供します。	0	2			
	検討	新規	インバウンドに対応した環境の整備	店舗等における多言語対応を支援します。	0	0			
既存事業者の継続・発展	検討	新規	地域情報誌との連携	地域情報誌等と連携し、市内飲食店や小売業、サービス業等について情報発信します。	0	0			

【進捗度】 2:実施 1:実施(課題あり) 0:実施なし

施策テーマ		実施事業		事業概要	R2	R3	R4	R5	R6
発展	最先端技術等を活用し既存事業者の生産性や業務効率化を促進する	実施	拡充	先端設備等導入計画	市内事業者の生産性向上を目的とした、先端設備導入計画の推進へ向け、先端技術活用事例の紹介や、設備投資に活用可能な補助金等の案内を実施します。	1	1		
		実施	新規	公的助成金等の申請支援	ワンストップ事業相談窓口において、国・県・市の補助金等の紹介を行います。	2	2		
		実施	新規	IoT・RPA等最先端技術導入支援	先端設備等導入計画を含む各種制度を活用し、IoTやRPAといった先端技術を活用した生産性向上に取り組む企業を支援します。	0	1		
		検討	拡充	キャッシュレス導入支援(中小企業経営力強化促進補助金の活用)	中小企業経営力強化促進補助金等を活用したキャッシュレス決済の導入支援を実施します。	1	1		
	既存事業者の販路を開拓して、受注機会を拡大する	実施	継続	展示会出展支援補助金	市内事業者が販路拡大を目的とした展示会に出展する際に、その出展小間料の1/2を補助金として交付します。	2	2		
		実施	継続	販路開拓イベント	各種展示会や物産展への出展支援を実施します。	2	2		
		実施	継続	グローバルネクスト	先端技術を有する市内中小企業の海外展示会出展を支援し、海外販路拡大や技術力向上を支援します。	2	2		
		実施	拡充	海外販路拡大支援	海外展開を目指している様々な分野の既存事業者等を対象に、オンライン会議を活用した海外販路拡大カウンセンリングや、茨城県や独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)等と連携した支援を実施します。	2	2		
		検討	新規	各所が運営するECサイトとの連携	茨城県、民間企業又は、JETRO等のECサイトと連携し、市内品の販路拡大を支援します。 さらに出展に際してかかる費用の一部を補助金として交付します。	0	0		
		検討	新規	姉妹都市とのビジネス交流機会創出	姉妹都市とビジネスにおける交流機会を創出し、海外展開を検討している事業者を支援します。	1	1		
	次世代へ事業を承継する	実施	新規	ワンストップ事業相談窓口[再掲]	総合相談窓口を市に置き、事業承継や経営引継ぎ等、相談内容に応じて茨城県事業引継ぎ支援センター等との連携を強化し、譲受および譲渡候補企業の中継を実施します。	2	2		
		実施	新規	支援機関での相談情報の共有	事業承継に関する相談情報を、支援機関で共有し、事業承継に係る課題が解決するまで連続的に管理します。	0	0		
		実施	新規	事業承継未定事業者の調査	健全な事業承継を促進していくために、市内事業者で事業承継に取り組んでいない、未定となっている事業者を調査します。本事業は、第6章に記載する重点プロジェクト「(1)事業承継から創業へつなぐ経営資源承継プロジェクト」の一環として実施します。	0	2		
検討		新規	継ぐスタの共催	日本政策金融公庫が実施している「継ぐスタ応援セミナー」を共催し、廃業検討者と新規創業者やベンチャー経営者のマッチングを行い、事業継承を支援します。	0	0			
検討		新規	廃業者再チャレンジ支援	設備等の資産継承や、技術継承等のマッチングイベントを企画・実施します。	0	0			

【進捗度】 2:実施 1:実施(課題あり) 0:実施なし

施策テーマ		実施事業		事業概要	R2	R3	R4	R5	R6
新たなチャレンジの機運を高める	実施	拡充	6次産業化の推進	市内産品を活用した商品開発支援のためのアイデア創出の場の提供や、専門家への中継を実施します。	2	2			
	実施	拡充	イベント開催支援	つくばものづくりオーケストラを始めとした市内企業団体による市内研究機関におけるイベント開催支援(場所・備品等の貸し出し等)を実施します。	2	2			
	実施	新規	新商品開発支援	つくばテクニカルコンシェルズ(TTI)や茨城県産業技術イノベーションセンター等への仲介を行います。さらに、ワンストップ事業相談窓口において、国のものづくり補助金等の紹介します。	0	1			
	検討	拡充	各種ピッチ会の開催	市内企業におけるピッチ会を開催することで、企業同士を知る機会や課題の共有機会を創出します。	0	0			
	検討	新規	クラウドファンド実施支援	資金調達におけるクラウドファンディングの活用を支援するための研修会を実施し、関連情報を提供します。	0	1			
つくば市の経営資源を最大限に活用してアイデアを創出する	実施	継続	市内企業のマッチング支援	全国における企業の技術ニーズを市内企業に紹介します。また、支援機関等による既存のマッチングポータルを活用し、市内企業の事業者間におけるマッチングを強化します。	1	1			
	実施	拡充	交流サロンにおけるイベント実施	つくば駅に隣接するBiviつくば内の交流サロン等における定期的なイベント開催により、市内研究者との交流を促進します。	2	2			
	実施	継続	スタートアップパークでのイベント開催	市が運営するインキュベーション施設であるつくばスタートアップパークにおいて、各種セミナーや交流会を定期的に開催することで、市内企業や起業家等の交流を促進します。	2	2			
	実施	拡充	提携連結・協業成果情報発信支援	市内企業同士が連携した成果について、市が積極的に情報発信します。	1	1			
	実施	継続	ビジネスプランアワードへの参加支援	各種ビジネスプランアワード(表彰制度)の開催情報の提供や参加費用の一部を補助金として交付します。	2	2			
	検討	拡充	市内事業者情報の一元化	市内事業者の企業情報等を把握し、事業者同士の連携が図れるように可視化します。	0	0			
研究開発に取り組みアイデアをカタチにする	実施	継続	ビジネスプランアワードへの参加支援[再掲]	各種ビジネスプランアワード(表彰制度)の開催情報の提供や参加費用の一部を補助金として交付します。	2	2			
	実施	新規	市民モニター等を活用した実証事業支援[再掲]	市内でのイベント開催時、市内事業者の製品や技術を市民に体感してもらい、認知度向上を図るとともに、製品に対する意見収集の場を提供します。	2	2			
	実施	新規	新製品・新事業開発支援	市内事業者が製品・サービス開発に取り組む際、研究開発から製品・事業化までの一連のプロセスにおいて、抱えている課題に応じて専門家や支援機関による助言をもらえる場を提供します。	0	1			
	検討	新規	知的財産取得支援	INPIT茨城県知財総合支援窓口への紹介を実施します。	0	0			

【進捗度】 2:実施 1:実施(課題あり) 0:実施なし

施策テーマ	実施事業	事業概要	R2	R3	R4	R5	R6
世界の未来をつくる新たな科学・技術・人材が生まれるまち	実施 拡充	空き店舗情報の集約および補助金の活用	2	2			
	実施 継続	つくばスタートアップパークの活用	2	2			
	実施 継続	事業用不動産物件情報連携協定	2	2			
	実施 新規	事業スペース・用地等のニーズ調査	0	1			
	検討 拡充	新たな産業用地の確保	1	1			
	検討 拡充	企業誘致補助	0	1			
	検討 新規	中心市街地におけるイノベーション拠点整備	0	1			
新規事業者創出 科学・技術・人材の交流によってイノベーションを創出する	検討 新規	空き家を活用したオフィス利用支援	0	1			
	実施 継続	未来共創プロジェクトの実施	2	2			
	実施 継続	SDGs パートナーズの推進	2	2			
	実施 継続	社会実装トライアルの支援	2	2			
	実施 継続	近未来技術等の社会実装の推進	2	2			
	実施 継続	アクセラレーションプログラムの実施	2	2			
	実施 新規	交流会の開催	1	1			
検討 拡充	近未来技術実装エリアの整備	2	2				

【進捗度】 2:実施 1:実施(課題あり) 0:実施なし

施策テーマ		実施事業		事業概要	R2	R3	R4	R5	R6
市内で新たな創業者が誕生する	実施	継続	創業支援等事業計画	市内支援機関が一体となって創業支援ネットワークを形成し、創業者希望者への支援を実施します。	2	2			
	実施	継続	チャレンジショップ	若者地域定着を目指し、創業を検討している方を対象に初期費用等を負担し、試行的な店舗運営を支援を実施します。	2	2			
	実施	継続	新規創業促進補助金	定款認証手数料および登録免許税の一部を補助金として交付します。	2	2			
	実施	継続	スタートアップセミナー等の実施	市民を対象にスタートアップセミナーや起業希望者、スタートアップのニーズや段階に応じた専門家相談会を実施します。	2	2			
	検討	新規	スタートアップビザと連動した外国人創業支援	スタートアップビザ制度の導入により増加が期待される、外国人創業者に対応したマニュアルや支援体制を構築します。	0	0			
	検討	新規	創業1年以内の事業者への保証施策	つくば市で創業した1年以内の事業者に対して、事業継続性を高めるために、保証施策を実施します。	0	0			

【進捗度】 2:実施 1:実施(課題あり) 0:実施なし

施策テーマ		実施事業		事業概要	R2	R3	R4	R5	R6
つくば市で働く次世代人材を育成する	実施	新規	人材育成支援	市内小規模事業者・中小企業向けに、従業員の（経営力、技術力等の）スキルアップを目的とした合同研修会を実施します。併せて、若年経営層を対象とした経営課題解決のための伴走型支援を実施します。	0	1			
	実施	新規	高校生・大学生向けキャリア形成支援 企業ネットワークの形成	就職フェアに参加する企業に協力要請し、モノづくり体験や就業経験の機会を創出し、自らの将来イメージをつくるきっかけとします。	0	1			
	検討	新規	科学技術週間と連携した市内企業公開	科学技術週間における研究所公開と併せて小中学生や研究者を対象とした市内企業公開を実施します。	0	0			
	検討	新規	小中学生向け市内中小企業訪問	夏休み等長期休暇期間を利用した市内企業ツアーを実施します。	0	0			
	検討	新規	小中高生向け起業セミナーの実施	市内経営者等を講師とした起業セミナーを実施します。	0	2			
若者が地域に定着化（職・住）する	実施	拡充	就活イベント、採用力向上セミナー	市内就職を目指す学生へ向けた就活イベントを実施します。また、市内企業に対し人材獲得や育成に関するセミナーを開催することで、採用からの定着を図ります。	2	2			
	実施	新規	就労ニーズの調査	市内人材が就労に関しどのようなニーズを持っているのか、また市内企業がどういった人材を求めているのかについて調査を行います。本事業は、第6章に記載する重点プロジェクト「(4)多様な人材と地元企業者をつなぐネットワークプロジェクト」の一環として実施します。	1	2			
	実施	新規	市内企業インターンシップ支援	インターンシップの受入れ手法や効果的なプログラム作成等、受入企業側の意識改革を目的にインターンシップ導入セミナーを実施します。	2	2			
	実施	拡充	事業者紹介情報の発信	市内就職を希望する学生向けに、市内求人情報発信を強化します。	2	2			
	検討	新規	高校生・大学生・U・Iターン者向け事業者紹介	就職フェアにおいて事業PRを実施します。併せて、補助制度を構築します。	1	1			
	検討	新規	UIターン就職者支援	市内に移住を伴う就職をする若者等に対し、一部費用の補助制度を構築します。	0	1			
多様な人材の就労機会を創出する	実施	継続	就労支援（ハローワーク連携）	ハローワークと連携し市内における就労支援を実施します。	2	2			
	実施	新規	雇用相談	ワンストップ事業相談窓口において、支援制度等の紹介を行います。さらに、ハローワークへの中継を実施します。	2	2			
	実施	新規	外国人材受入支援	市内留学生と市内企業のマッチングや、外国人材活用に関するセミナー等を実施します。	0	1			
	検討	新規	シニア受入支援事業	市内企業や研究所等を退職した方の再就職支援を実施します。	0	0			
離職率が低下し、従業員が定着する	実施	新規	人材育成支援	市内小規模事業者・中小企業向けに、従業員の（経営力、技術力等の）スキルアップを目的に合同研修会を開催します。	0	1			
	実施	新規	テレワーク・時差出勤等導入支援	事業の効率化や、副業の導入等による従業員の定着へ向け、新たなワークスタイル導入の提案や実行へ向けた支援を実施します。	0	1			
	検討	新規	IoT・RPA等最先端技術導入支援[再掲]	先端設備等導入計画を含む各種制度を活用し、IoTやRPAといった先端技術を活用した生産性向上に取り組む企業を支援します。	0	1			
	検討	拡充	多様な働き方の促進	サテライトオフィスの設置支援やシェアオフィス、コワーキングスペース等の情報提供を実施し、働き方の選択肢を増やします。	0	1			

## つくば市産業戦略進捗管理総括

## 計画全体進捗状況

計画	実施事業	58	検討事業	28	計	86 (うち重複施策4)
進捗状況	実施済	70	未実施	16		
						事業実施率 81%

(以下内訳)

## 【安定して事業を継続・発展できるまち】

計画	実施事業	22	検討事業	9	計	31
進捗状況	実施済	23	未実施	8		
						事業実施率 74%

## 【新たにチャレンジできるまち】

計画	実施事業	11	検討事業	4	計	15
進捗状況	実施済	12	未実施	3		
						事業実施率 80%

## 【世界の未来をつくる新たな科学・技術・人材が生まれるまち】

計画	実施事業	14	検討事業	7	計	21
進捗状況	実施済	19	未実施	2		
						事業実施率 90%

## 【地域産業人材が集まり・定着するまち】

計画	実施事業	11	検討事業	8	計	19
進捗状況	実施済	16	未実施	3		
						事業実施率 84%

## 成果指標

## 市内総生産

13,603億円(2017年度)→14,383億円(2024年度) | 13,722億円(2018年度:現最新)

## つくば市認定制度への申請件数

9件(2019年度)→100件(2020-2024年度累計) | 42件(2020年度実績) 26件(2021年度実績)

## 市内における新規創業者数

102人(2019年度)→395人(2020-2024年度累計) | 104人(2020年度実績)

## 市内における就業者数

133,388人(2017年度)→143,006人(2024年度) | 135,276人(2018年度:現最新)

2021年度用							
プロジェクト名	事業承継から創業へつなぐ経営資源承継プロジェクト						
事業概要	廃業予定又は事業承継未定の事業者に対して、事業承継の取組み促進や承継希望者や創業希望者等とのマッチングの場を提供するなど、中小企業者が長年の経営を通して培ってきた経営資源を次世代の担い手へ承継させることで、これまで既存産業を支えてきた資源を引き続きつば市の産業へ活用していく。						
KPI	指標	目標値	2020	2021	2022	2023	2024
	事業承継に係る相談件数	30(累計)	0	1			
	事業承継のマッチング件数	9(累計)	0	0			
計画	カテゴリ	取組内容	スケジュール				
			2020	2021	2022	2023	2024
	事業承継未定事業者の顕在化	調査実施	方法検討	調査実施 →	-----		
	経営資源と次世代産業の担い手とのマッチング	承継経営資源の洗い出し				実施	→
		承継先の抽出				実施	→
マッチング					実施	→	
モニタリング					実施	→	
実施内容及びその成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業承継に関するアンケート調査を、市内企業約5,000社に対して実施し、約400件の回答を得た。</li> <li>・アンケート回答事業者へのヒアリングを実施した。(1件)</li> <li>・円滑な事業承継支援を実施するために、事業承継支援をワンストップで継続的に行う茨城県事業承継支援ネットワークへ参加。当該ネットワークは、同支援センターのほか茨城県や商工団体、金融機関、土業団体等を構成員としており、関係機関と連携することで、中小企業診断士等による無料個別相談や後継者人材バンクを活用したマッチング支援等切れ目のない支援が実施可能となる。</li> </ul>						
次年度実施内容及び改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茨城県事業承継支援ネットワークと連携した支援体制の構築。</li> <li>・アンケート結果をもとに、事業者のフェーズごとに適切な支援策の検討。</li> <li>・早急に事業承継に向けた取組みが必要な事業者については、事業承継支援ネットワークの専門家による個別相談等を実施し、適切な時期に適切な支援が受けられるようサポートを行っていく。</li> </ul>						

## 2021年度用

プロジェクト名	市内事業者をつなぐ つくば市認定プロジェクト							
事業概要	地域の資源を生かした製品・サービスの開発と販路拡大の支援が十分に行われていない現状を鑑み、認定制度を基点とした、販路開拓の重点的支援や、製品・サービスの品質向上の支援に取り組む。							
KPI	指標	目標値	2020	2021	2022	2023	2024	
	つくば市認定制度の認定件数	80(累計)	36(13+23)	20程度				
	販売促進活動の支援件数	50(累計)	8	19				
	つくば市認定制度へのチャレンジ支援件数	30(累計)	0	3				
計画	カテゴリ	取組内容	スケジュール					
			2020	2021	2022	2023	2024	
	つくば市認定制度の見直し	認定制度の見直し	見直し	実施			▶	
	つくば市認定製品・サービスプラットフォームによる販売促進	プラットフォームの設計・設置	設置		▶	実施		▶
		販売促進活動の実施				実施		▶
	つくば市認定制度へのチャレンジ支援	支援メニューの検討・具体化			検討・具体化			
支援メニューの実施					実施		▶	
実施内容及びその成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の優れた技術やサービスを認定する、「つくばクオリティ認定制度」を2020年度に新設し、2020年度は23件、2021年度は6件の商品及び役務を認定した。</li> <li>市内の優れた物産品を認定する「つくばコレクション認証制度」では新規商品3品を含む13品を認証した。</li> <li>つくばコレクションに認定されなかった商品のフォローアップやこれからつくばコレクションの認証を受けようとする商品のチャレンジ支援につなげることを目的に物産品魅力度向上プログラム(2021年度はパッケージデザイン編)を3者へ実施し、事業者のパッケージデザインに対する意識改革を促すとともに、パッケージデザインの魅力向上を図ることができた。</li> </ul>							
次年度実施内容及び改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>つくばクオリティ認定制度における販促支援の部分が弱い現状を鑑み、認定事業者の意向に沿った支援を積極的に行っていく。</li> <li>認定制度へのチャレンジ支援では、コレクションに関しては、引き続き行っていく一方、クオリティに関しては、申請内容が多岐にわたるため、寄り添った支援メニューの検討が難しい部分がある。</li> </ul>							

2021年度用							
プロジェクト名	科学×技術×人材の交流が世界の未来へつなぐプロジェクト						
事業概要	既存事業者や、社会実装事業や創業に向けてチャレンジしている人材や創業者等のつながりを強化することで、市内における新事業の創出や新規の事業者創出を加速化していく。						
KPI	指標	目標値	2020	2021	2022	2023	2024
	異業種交流会参加事業者数	50	0	9			
	提携連結・協業成果情報発信支援件数	3	0	1			
計画	カテゴリ	取組内容	スケジュール				
			2020	2021	2022	2023	2024
	科学×技術×人材の交流の場の提供	交流会の開催	手法検討	→	実施	→	→
	新たな科学×技術×人材の情報発信	情報発信	手法検討	実施	→		→
実施内容及びその成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異業種交流会の開催に当たり、コロナ禍ということを鑑み、実地開催ではなく、オンラインでイベントプラットフォームを活用しての大規模なものを模索した。しかし調整がつかず今年度に関しては実施を見送ることとした。</li> <li>・市内事業者間の交流及び事業PRを目的として、市内商業施設において創業支援ネットワークによる支援を受けた方を対象としたイベントを実施し、6事業者(+創業予定者3者)が参加した。</li> </ul>						
次年度実施内容及び改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタートアップパークでの定期開催イベント等において、既存事業者も気軽に交流できるような場を作り、交流を図る。</li> <li>・商業施設でのイベント実施を含む各イベントへの出展を通じた交流促進の実施する。</li> <li>・スタートアップ支援や創業支援、つくばSociety 5.0社会実装トライアル支援等の事業で開発した技術を広く既存事業者へ発信し、マッチング機会を増やしていく。</li> </ul>						

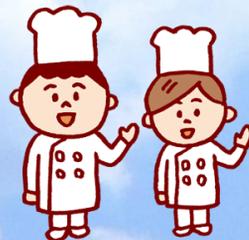
2021年度用							
プロジェクト名	多様な人材と地元事業者をつなぐネットワーキングプロジェクト						
事業概要	既存事業者において、人材不足が経営上の課題となっている。一方で、市内大学には特徴ある学部(スポーツ、芸術)の学生や留学生や、研究機関出身のシニア等多様な人材がおり、働き手と事業者双方のニーズの情報共有をすることで、人材受入れに関する意識の醸成につなげていく。また、地元事業者と多様な人材がつながるきっかけや機会の創出に取り組む。						
KPI	指標	目標値	2020	2021	2022	2023	2024
	市内企業と就職希望者の交流会参加者数	130	194+34	136+44			
	就職面接会におけるマッチング実績数(累計)	945	709	1318			
計画	カテゴリ	取組内容	スケジュール				
			2020	2021	2022	2023	2024
	多様な人材・事業者のニーズ調査	人材・事業者のニーズ把握	対象別に順次調査				→
		人材・事業者のニーズに関する情報発信		調査結果をもとに発信			→
	事業者側と人材側の交流の場の創出	イベントの設計・準備		設計・準備			→
イベントの準備・実施			実施			→	
実施内容及びその成果	就職フェアの出展企業に対し、スポーツや芸術等の専門学部の学生、留学生やシニアの採用状況及び今後の採用検討等についてアンケート調査を実施した。その結果を次年度の就職フェア等に活用する。						
次年度実施内容及び改善点	就職フェアの募集対象として、スポーツや芸術等の専門学部の学生、留学生やシニアの枠を追加することで、多様な人材が地元事業者を選択する機会につながる。						

2021年度用

プロジェクト名	事業者の成長段階にあわせた受入環境確保プロジェクト						
事業概要	事業者が事業拡大等に伴う移転の際の支援が不足しており、小規模オフィスの次の段階となる拠点を探す際に市外移転するケースがあるため、事業者の成長段階に合わせて、継続して事業が行えるような受入環境の向上を図る。						
KPI	指標	目標値	2020	2021	2022	2023	2024
	新規立地希望者および市内移転希望事業者へのフォローアップ	15	0	5			
	新規および拡充立地企業数(累計)	50	17	37			
計画	カテゴリー	取組内容	スケジュール				
			2020	2021	2022	2023	2024
	事業物件・用地等のニーズ把握	調査方法検討	検討				
		調査実施		調査実施 →			
	事業所立地活用可能物件の発掘・情報発信	情報収集		情報収集 →			
		情報発信			情報発信 →		
受入環境整備				環境整備 →			
実施内容及びその成果	工業団地内企業に事業スペース・用地等のニーズ調査を実施し、現在の立地環境評価や今後の事業展開、新規立地の選定条件等を知ることができた。						
次年度実施内容及び改善点	全国の企業情報を保有している専門事業者に委託し、事業物件・用地等のニーズ調査を実施する。						



＼皆さまのお声をお聞かせください／



# つくば市の 事業承継プロジェクト

に関するアンケート調査



実施期間

2021年9月10日（金）～30日（木）まで

つくば市は、市内事業者の皆さまの事業承継の支援の強化に向けて、必要な支援内容やご要望等について把握したいと考えています。ぜひアンケートにご協力いただき、皆さまのお声をお聞かせください。

回答方法

Webで  
回答  
できます

下記のいずれかの方法にてご回答ください

- ・スマートフォンで、QRコードを読み取り回答
- ・つくば市ホームページにアクセスして回答
- ・回答用紙に記入し、FAXまたは郵送で回答



【9～15問／所要時間約5分】

※お答えいただいた内容は、産業振興課の政策立案のためにのみ使用し、他の目的で使用することはありません。

問合せ先・送付先

〒305-8555 つくば市研究学園1丁目1番地1  
つくば市 産業振興課 経営支援係  
TEL : 029-883-1111 FAX : 029-868-7616

# アンケート質問用紙

## ▶ 企業情報について（全員にお伺いします）

### 質問 1 （該当する1つの番号をお書きください）

企業形態を教えてください。

- ①個人事業主 ②有限会社 ③株式会社 ④合同会社 ⑤その他

### 質問 2 （該当する1つの番号をお書きください）

主な業種を教えてください

- ①建設業 ②製造業 ③卸売業 ④小売業 ⑤不動産業 ⑥運輸業 ⑦飲食業 ⑧宿泊業  
⑨娯楽業 ⑩生活関連サービス業 ⑪学術研究サービス業 ⑫その他サービス業 ⑬その他

### 質問 3 （該当する1つの番号をお書きください）

創業からの年数を教えてください。

- ①0～20年 ②21～40年 ③41～60年 ④61～80年 ⑤81～100年 ⑥101年以上

### 質問 4 （該当する1つの番号をお書きください）

正規雇用者数を教えてください。

- ①0～10人 ②11～20人 ③21～50人 ④51人以上

### 質問 5 （該当する1つの番号をお書きください）

非正規雇用者数を教えてください。

- ①0～10人 ②11～20人 ③21～50人 ④51人以上

### 質問 6 （該当する1つの番号をお書きください）

代表者の年齢を教えてください。

- ①40歳未満 ②40歳代 ③50歳代 ④60歳代 ⑤70歳代 ⑥80歳以上

## ▶ 事業承継について（全員にお伺いします）

### 質問 7 （該当する1つの番号をお書きください）

後継者の状況を教えてください。

- ①既に後継者を決めている ②既に後継者候補がいる  
③後継者未定だが後継者を探している ④廃業予定である ⑤特に考えていない  
⑥支店・営業所である

### 質問 8 （該当する全ての番号をお書きください）

今後、つくば市では事業承継を支援していく予定です。市に期待することを教えてください。

- ①事業承継の概要、具体的方法を学べるセミナー ②相続、税制に関するセミナー  
③事業承継元と承継希望者を仲介するサービス ④事業承継にかかる費用等に対する助成金  
⑤事業承継に関する融資制度 ⑥個別に専門家に相談できる窓口 ⑦特になし ⑧その他

### 質問 9 （該当する全ての番号をお書きください）

事業承継には、事業全てではなく技術や不動産など一部のみの承継もあります。事業承継させたいもの（廃業予定、後継者を特に考えていない方は興味あるもの）を教えてください。

- ①全て ②技術・知識 ③商品・製品 ④従業員 ⑤設備 ⑥土地・建物  
⑦社名・屋号 ⑧株式 ⑨特になし ⑩支店・営業所である ⑪その他

▶ 質問7で、①すでに後継者を決めている／②後継者候補がいると回答した方にお伺いします

質問10 (該当する全ての番号をお書きください)

後継者、候補者を教えてください。

- ①親族 ②自社役員・従業員 ③外部人材 ④その他

質問11 (該当する1つの番号をお書きください)

事業承継に向けた後継者教育や承継手続きの状況を教えてください。

- ①後継者教育や承継手続きなどを進めている  
②後継者教育や承継手続きの計画はあるがまだ出ていない  
③後継者教育や承継手続きの具体的方法が分からない  
④事業承継を進めるには時期尚早である ⑤その他

質問12 (該当する全ての番号をお書きください)

事業承継を進めていく上での課題や懸念を教えてください。

- ①技術の引継ぎなど後継者教育 ②相続税、贈与税などの税金  
③相続方法や税制など法律に関する知識不足  
④後継者候補の承継意思 ⑤従業員の理解 ⑥特に問題はない ⑦その他

▶ 質問7で、③後継者未定だが後継者を探していると回答した方にお伺いします

質問13 (該当する全ての番号をお書きください)

後継者として希望する人材を教えてください。

- ①親族 ②自社社員・従業員 ③外部人材 ④後継者にこだわりなし ⑤その他

質問14 (該当する全ての番号をお書きください)

後継者を見つけるために相談をしているところがあれば教えてください。

- ①税理士・弁護士・会計士 ②親族や従業員 ③茨城県事業承継・引継ぎ支援センター  
④金融機関 ⑤商工会 ⑥市役所  
⑦特に相談しているところはない ⑧その他

質問15 (該当する全ての番号をお書きください)

後継者を探す上での課題や懸念があれば教えてください。

- ①適当な後継者候補が見つからないこと ②後継者の探し方が分からないこと ③従業員の理解  
④後継者の能力や知識不足 ⑤経営状況  
⑥親族や従業員に承継意思がないこと ⑦特になし ⑧その他

質問16 (該当する全ての番号をお書きください)

後継者に求めていることを教えてください。

- ①事業に必要な専門技術、知識をすでに習得していること  
②市内在住であること (予定を含む)  
③年齢が若いこと  
④現経営者による研修、教育を受けることができること  
⑤忍耐、体力があること  
⑥その他

▶ **質問7で、④廃業予定／⑤事業承継を特に考えていないと回答した方にお伺いします**

**質問17** (該当する全ての番号をお書きください)

**【廃業予定の方のみお答えください】 経営者が引退する理由を教えてください。**

- ①経営者の高齢化                      ①経営者の健康上の理由                      ③経営者の身内の都合  
④業績悪化                              ⑤新規事業への移行                              ⑥その他

**質問18** (該当する1つの番号をお書きください)

**事業承継には廃業にはない様々なメリットがあります。事業承継に興味がありますか。  
(※事業承継の概要、メリットについては別紙をご参照ください)**

- ①事業承継に興味がある  
②事業承継に興味がない

**質問19** (該当する全ての番号をお書きください)

**【事業承継に興味があると答えた方へ】 どのような点に魅力を感じるか教えてください。**

- ①承継先への株式、設備、機材等の売却に伴い、資金を一括で取得できる点  
②廃業した場合にかかる従業員への補償や設備処分費がかからない点  
③自身が築いた事業が地域に存続することで、社会との繋がりを維持できる点  
④意欲のある後継者によって自身の事業が成長し付加価値が生まれる点  
⑤自身の事業が地域に貢献でき、地域活性化につながる点  
⑥その他

**質問20** (該当する全ての番号をお書きください)

**【事業承継に興味があると答えた方へ】 事業承継の課題や懸念を教えてください。**

- ①自身の希望に沿う後継者が見つかるか疑問  
②事業承継する上で何から始めるべきか分からない  
③後継者の教育ができるか不安  
④経営状況                      ⑤特になし                      ⑥その他

**質問21** (該当する全ての番号をお書きください)

**【事業承継に興味がないと答えた方へ】 理由を教えてください。**

- ①元々自分の代で廃業予定だった  
②事業承継にメリットを感じない  
③外部から登用するつもりがない  
④事業承継の仕方が分からない、手間がかかる  
⑤後継者がいない  
⑥事業承継は時期尚早である  
⑦その他

◎ご回答頂きましてありがとうございました◎

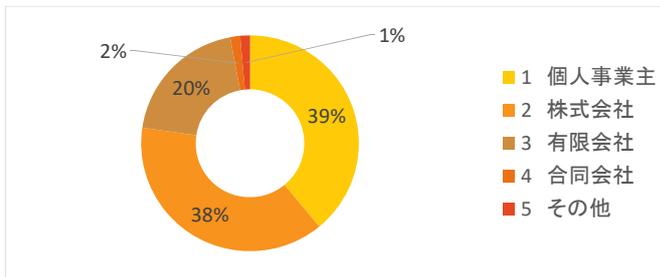
今後、この内容を分析し、事業者の皆さまの助けとなる政策を考えて参ります。

※現在すでに事業承継の問題があり、支援を希望している事業者様は、ご意見欄に「連絡希望」とご記入のうえ、電話番号等の連絡先をお書きください。後日、産業振興課からご連絡させていただき、具体的内容を聞き取りのうえ、国や県の事業承継支援機関をご案内します。

# I 企業情報について

## 質問1 企業形態について教えてください

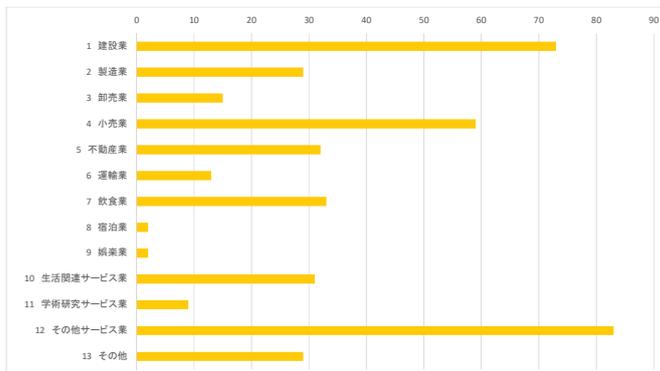
全員



企業形態	件数	割合
1 個人事業主	160	39%
2 株式会社	157	38%
3 有限会社	81	20%
4 合同会社	6	1%
5 その他	6	1%
総計	410	100%

## 質問2 主な業種について教えてください

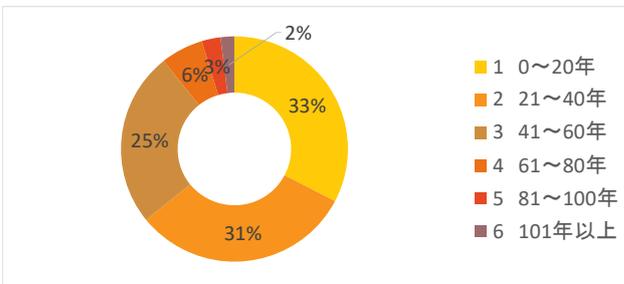
全員



主な業種	件数	割合
1 建設業	73	18%
2 製造業	29	7%
3 卸売業	15	4%
4 小売業	59	14%
5 不動産業	32	8%
6 運輸業	13	3%
7 飲食業	33	8%
8 宿泊業	2	0%
9 娯楽業	2	0%
10 生活関連サービス業	31	8%
11 学術研究サービス業	9	2%
12 その他サービス業	83	20%
13 その他	29	7%
総計	410	

## 質問3 創業からの年数について教えてください

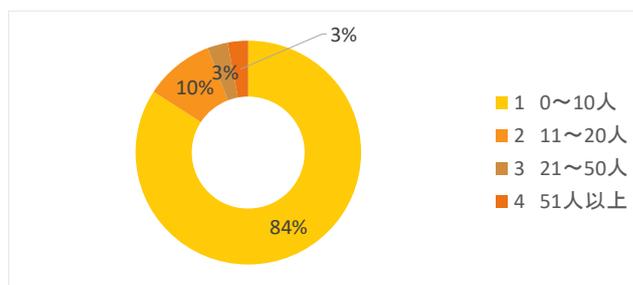
全員



創業からの年数	件数	割合
1 0~20年	134	33%
2 21~40年	129	31%
3 41~60年	103	25%
4 61~80年	25	6%
5 81~100年	11	3%
6 101年以上	8	2%
総計	410	100%

## 質問4 正規雇用者数について教えてください

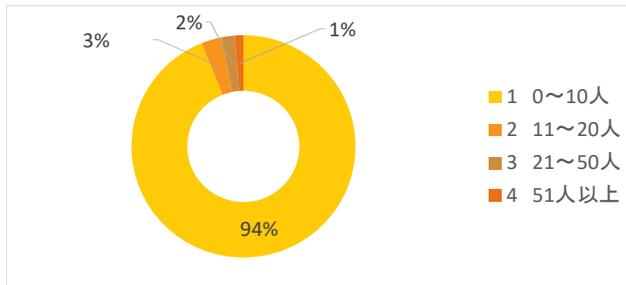
全員



正規雇用者数	件数	割合
1 0~10人	345	84%
2 11~20人	41	10%
3 21~50人	12	3%
4 51人以上	12	3%
総計	410	100%

## 質問5 非正規雇用者数について教えてください

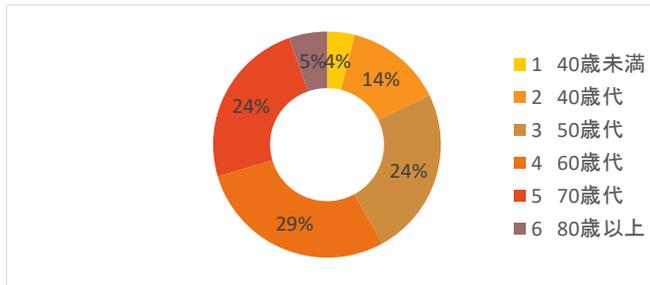
全員



非正規雇用者数	件数	割合
1 0～10人	385	94%
2 11～20人	12	3%
3 21～50人	8	2%
4 51人以上	5	1%
総計	410	100%

## 質問6 代表者の年齢について教えてください

全員

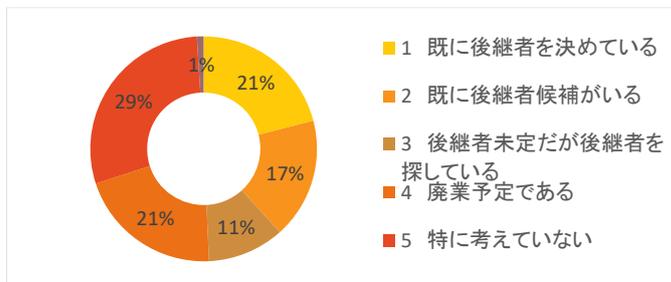


代表者の年齢	件数	割合
1 40歳未満	16	4%
2 40歳代	57	14%
3 50歳代	99	24%
4 60歳代	117	29%
5 70歳代	99	24%
6 80歳以上	22	5%
総計	410	100%

## II 事業承継について（全員回答）

### 質問7 後継者の状況について教えてください

全員



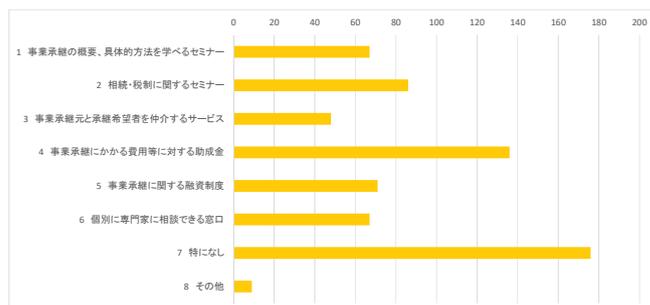
後継者の状況	件数	割合
1 既に後継者を決めている	86	21%
2 既に後継者候補がいる	71	17%
3 後継者未定だが後継者を探している	45	11%
4 廃業予定である	85	21%
5 特に考えていない	119	29%
6 支店・営業所である	4	1%
総計	410	100%

### 質問8 今後つくば市では事業承継を支援していく予定です。

選択

複数回答

#### つくば市に期待することを教えてください

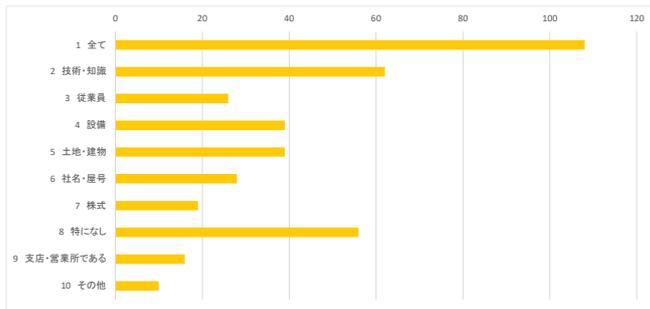


つくば市に期待すること	件数	割合
1 事業承継の概要、具体的方法を学べるセミナー	67	10%
2 相続・税制に関するセミナー	86	13%
3 事業承継元と承継希望者を仲介するサービス	48	7%
4 事業承継にかかる費用等に対する助成金	136	21%
5 事業承継に関する融資制度	71	11%
6 個別に専門家に相談できる窓口	67	10%
7 特になし	176	27%
8 その他	9	1%
総計	660	100%

### 質問9 承継させたいものについて選択してください

選択

複数回答



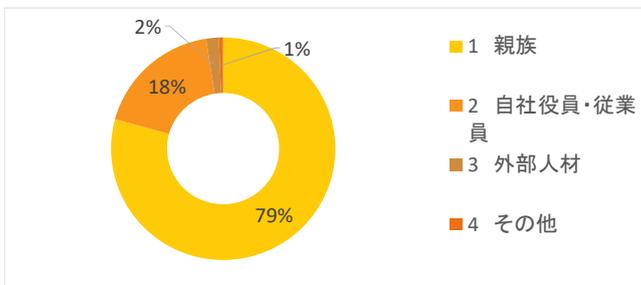
事業継承させたいもの	件数	割合
1 全て	108	27%
2 技術・知識	62	15%
3 従業員	26	6%
4 設備	39	10%
5 土地・建物	39	10%
6 社名・屋号	28	7%
7 株式	19	5%
8 特になし	56	14%
9 支店・営業所である	16	4%
10 その他	10	2%
総計	403	

## Ⅲ 後継者「決定企業」への質問

### 質問10 後継者、後継者候補はどのような人材ですか

選択

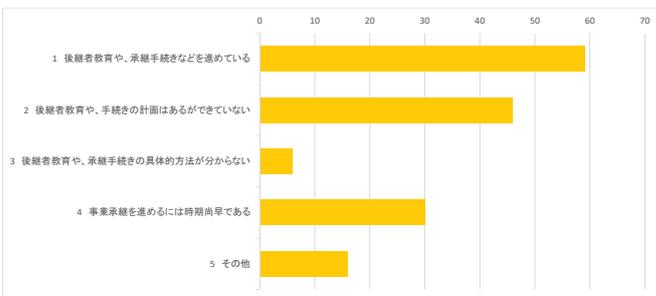
複数回答



後継者、後継者候補	件数	割合
1 親族	130	79%
2 自社役員・従業員	30	18%
3 外部人材	3	2%
4 その他	1	1%
総計	164	100%

### 質問11 事業承継に向けた後継者教育や承継手続きの状況を教えてください

選択

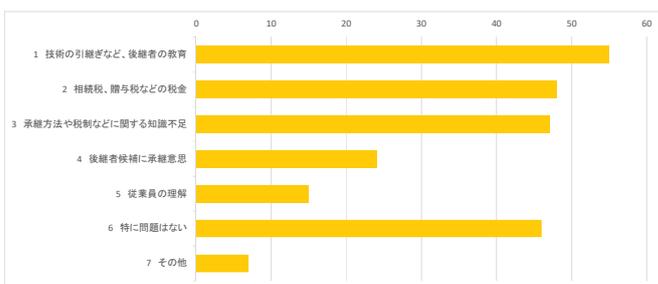


事業承継に向けた状況	件数	割合
1 後継者教育や、承継手続きなどを進めている	59	38%
2 後継者教育や、手続きの計画はあるができていない	46	29%
3 後継者教育や、承継手続きの具体的方法が分からない	6	4%
4 事業承継を進めるには時期尚早である	30	19%
5 その他	16	10%
総計	157	100%

### 質問12 事業承継を進めていく上での懸念や課題を教えてください

選択

複数回答



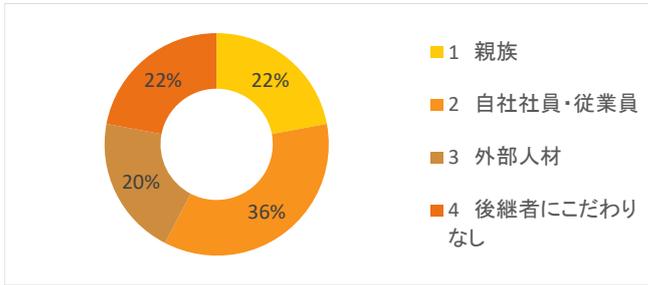
事業承継の課題や懸念	件数	割合
1 技術の引継ぎなど、後継者の教育	55	23%
2 相続税、贈与税などの税金	48	20%
3 承継方法や税制などに関する知識不足	47	19%
4 後継者候補に承継意思	24	10%
5 従業員の理解	15	6%
6 特に問題はない	46	19%
7 その他	7	3%
総計	242	100%

## Ⅳ 後継者「未定企業」への質問

### 質問13 後継者として希望する人材を教えてください

選択

複数回答

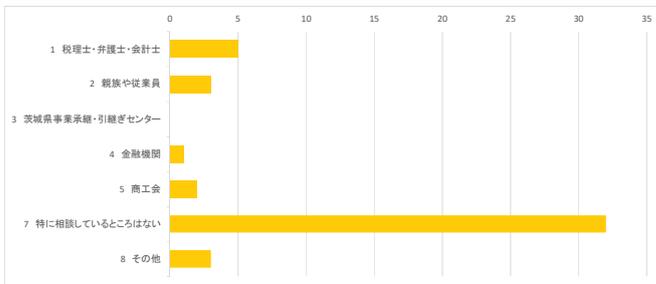


希望する後継者	件数	割合
1 親族	13	22%
2 自社員・従業員	21	36%
3 外部人材	12	20%
4 後継者にこだわりなし	13	22%
総計	59	100%

### 質問14 後継者を見つけるために相談しているところがあれば教えてください

選択

複数回答

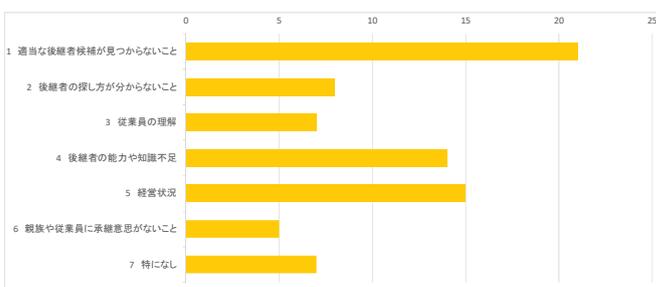


相談先	件数	割合
1 税理士・弁護士・会計士	5	11%
2 親族や従業員	3	7%
3 茨城県事業承継・引継ぎセンター	0	0%
4 金融機関	1	2%
5 商工会	2	4%
7 特に相談しているところはない	32	70%
8 その他	3	7%
総計	46	100%

### 質問15 後継者を探す上での課題や懸念があれば教えてください

選択

複数回答

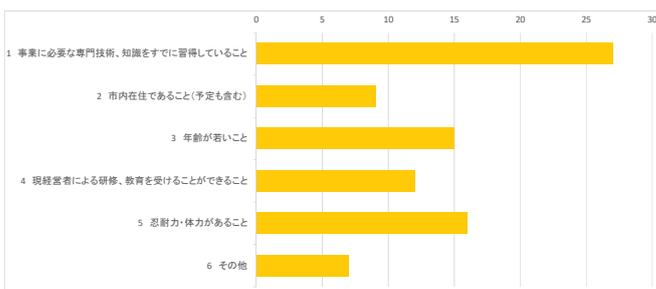


後継者探しの課題や懸念	件数	割合
1 適当な後継者候補が見つからないこと	21	27%
2 後継者の探し方が分からないこと	8	10%
3 従業員の理解	7	9%
4 後継者の能力や知識不足	14	18%
5 経営状況	15	19%
6 親族や従業員に承継意思がないこと	5	6%
7 特になし	7	9%
総計	77	100%

### 質問16 後継者に求めていることを教えてください

選択

複数回答



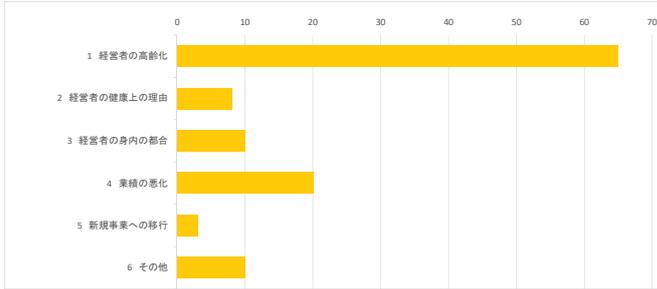
後継者に求めていること	件数	割合
1 事業に必要な専門技術、知識をすでに習得していること	27	31%
2 市内在住であること(予定も含む)	9	10%
3 年齢が若いこと	15	17%
4 現経営者による研修、教育を受けることができること	12	14%
5 忍耐力・体力があること	16	19%
6 その他	7	8%
総計	86	100%

## V 「廃業予定企業」及び「特に考えていない企業」への質問

### 質問17 経営者が引退する理由を教えてください

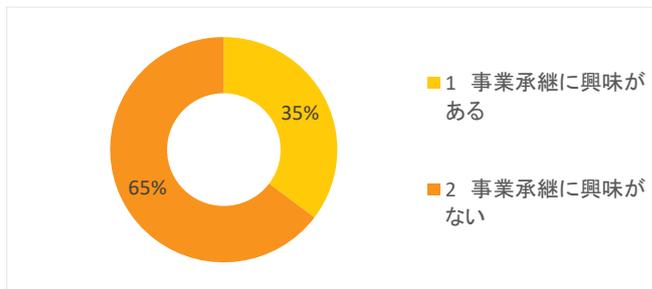
選択

複数回答



経営者の引退理由	件数	割合
1 経営者の高齢化	65	56%
2 経営者の健康上の理由	8	7%
3 経営者の身内の都合	10	9%
4 業績の悪化	20	17%
5 新規事業への移行	3	3%
6 その他	10	9%
総計	116	100%

### 問18 事業承継には様々なメリットがありますが、事業承継に興味がありますか

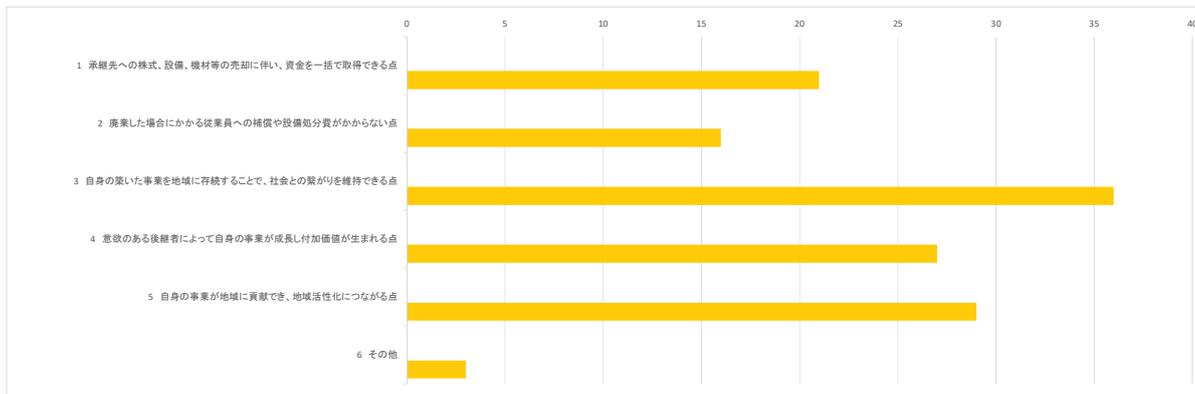


事業承継に興味があるか	件数	割合
1 事業承継に興味がある	72	35%
2 事業承継に興味がない	132	65%
総計	204	100%

### 質問19 事業承継のどのような点に魅力を感じますか

選択

複数回答

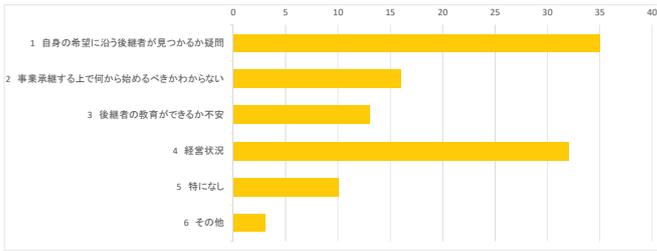


事業承継の魅力	件数	割合
1 承継先への株式、設備、機材等の売却に伴い、資金を一括で取得できる点	21	16%
2 廃業した場合にかかる従業員への補償や設備処分費がかからない点	16	12%
3 自身の築いた事業を地域に存続することで、社会との繋がりを維持できる点	36	27%
4 意欲のある後継者によって自身の事業が成長し付加価値が生まれる点	27	20%
5 自身の事業が地域に貢献でき、地域活性化につながる点	29	22%
6 その他	3	2%
総計	132	100%

## 質問20 事業承継の課題や懸念を教えてください

選択

複数回答

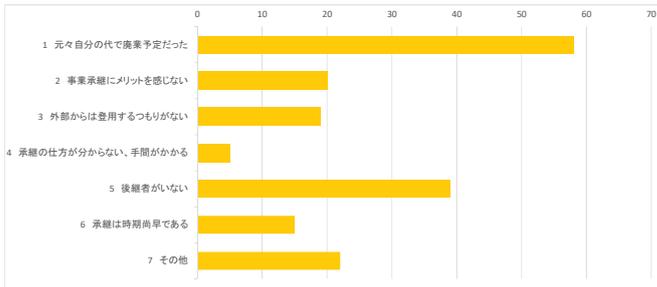


事業承継の課題や懸念	件数	割合
1 自身の希望に沿う後継者が見つかるか疑問	35	32%
2 事業承継する上で何から始めるべきかわからない	16	15%
3 後継者の教育ができるか不安	13	12%
4 経営状況	32	29%
5 特になし	10	9%
6 その他	3	3%
総計	109	100%

## 質問21 事業承継に興味がない理由を教えてください

選択

複数回答



事業承継に興味がない理由	件数	割合
1 元々自分の代で廃業予定だった	58	33%
2 事業承継にメリットを感じない	20	11%
3 外部からは登用するつもりがない	19	11%
4 承継の仕方が分からない、手間がかかる	5	3%
5 後継者がいない	39	22%
6 承継は時期尚早である	15	8%
7 その他	22	12%
総計	178	100%

# 令和3年度（2021年度） つくばクオリティ認定制度 募集要項



つくば市発の優れた商品や役務（サービス）を  
つくば市が『つくばクオリティ』として認定し、  
その魅力を国内外に広く発信することにより、  
企業等とつくば市がともにイメージアップを図るとともに、  
その販路開拓・販売促進を支援します。

## 募集期間

令和3年8月4日（水）9時から 令和3年8月31日（火）17時まで

※申請書等様式類は、市ホームページからダウンロードできます。

URL [https://www.city.tsukuba.lg.jp/  
jigyosha/oshirase/1013448.html](https://www.city.tsukuba.lg.jp/jigyosha/oshirase/1013448.html)



## 申請・問合せ先

〒305-8555 つくば市研究学園一丁目1番地1  
つくば市経済部産業振興課産業創出支援係  
電話：029-883-1111

## 1. つくばクオリティ認定の特典（予定）

- ① つくばクオリティ認定ロゴマークの付与
- ② 認定商品等を紹介するパンフレットの発行
- ③ 市ホームページ・SNS・プレスリリース等による情報発信
- ④ 商品等をPRできる場の提供
- ⑤ 認定商品等に対する、専門家による個別相談・アドバイス
- ⑥ 認定商品等を有する事業者、関係企業・機関による交流会等の開催
- ⑦ 地方自治法に基づく政策的随意契約による市の試験購入・評価  
（※要件を満たした上で、市又は関係機関で認定商品等の利用希望があった場合）

## 2. 対象者

市内に事業所を有する事業者で、市税の滞納がないこと。

## 3. 対象商品・役務（サービス）

商品： 製品の特徴的な部分を市内で開発または製造し、既に実用化されているもの（食品を除く）。

役務： サービスの特徴的な部分を市内で開発し、既に実用化されているもの。

※現在も製造・提供されている商品・役務に限ります。

※詳細は、「つくば市商品等のつくばクオリティの認定に関する要綱」をご御覧ください。

## 4. 認定基準

次のすべてを満たす商品・役務（サービス）

- ① 有用性が見込まれる
- ② 独自性を有する
- ③ 市のイメージ向上に資する
- ④ 関係法令に違反しない
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症拡大防止等に寄与する（特別部門に限る）

## 5. 認定期間

認定期間は設けません。(〇〇年度認定品として認定し続けます。)

## 6. 審査方法等

書類審査、ヒアリング等により、商品・役務（サービス）が認定要件や認定基準に適合するかどうかを判断します。

なお、審査結果については、書面で応募者にお知らせいたします。

## 7. 申請方法等

### (1) 部門・種別の選択について

部門を「一般部門」「特別部門」から、種別を「商品」「役務」から選択してください。※令和3年度募集の特別部門は、『新型コロナウイルス感染症対策』です。

(参考)

商品	役務
・既製品として生産されるもの	・各種サービスの提供を行うもの
・物品等買入れ契約により調達されるもの	・発注者の仕様により生産・提供されるもの
※ 製品単体で動作するソフトウェアなど、製品のみで機能・性能の提供が可能なものは、商品に区分されます。	
※ 製品のみでは機能・性能の実現が困難なものは、役務に区分されます。	

### (2) 申請方法について

つくばクオリティ認定申請書〔様式第1号〕及び添付書類を産業振興課へ郵送もしくは直接持参してください。(FAX、E-mailでの受付はできません。)

## 8. その他・留意事項等

- (1) 当該認定により、つくば市が商品等の品質の保障や購入を約束するものではありません。
- (2) 申請書等に含まれる著作物等の著作権について、公表その他当事業に必要な用途に用いる場合には、つくば市はこれを無償で使用できることとします。
- (3) 申請書等の提出された書類は返却しません。
- (4) 審査の途中経過及び審査結果に関するお問い合わせには応じかねますので、予め御了承ください。

- (5) つくば市は、認定した事業者が行う事業活動により生じた事故、損害等に対する責任について、その理由の如何を問わず、これを負いません。
- (6) 特許権・意匠権・商標権・著作権などの知的財産権に関する責任、品質や安全などに関する責任は、当事業において認定した事業者が負う物とします。
- (7) 制度の詳細は、「つくば市商品等のつくばクオリティの認定に関する要綱」をご御覧ください。

物産品販売店様向け

つくばらしさ  
を出したい!

パッケージを  
変えたい

専門家の  
意見を  
聞きたい

どのような  
デザインが  
選ばれる?

デザインの「？」  
ご相談ください

# 物産品魅力度 向上 プログラム

パッケージデザイン編

物産品の魅力度をさらに高めたいと考えている事業者様のためのプログラムです。パッケージデザインについて市民モニターのアンケートや専門家の個別相談などのサービスが利用できます。

どのように  
変えたら  
いいの?

ブランド力  
を高めたい

お客様の  
印象を  
知りたい

コストを  
知りたい

つくば市



講師

西條 友弥子

デザインコーディネーター

宮城県仙台市出身。筑波大学大学院修了。2008年より県内デザイン事務所のプランナーを務めたのち、市営商業施設のデザインチームとしてイベント企画運営、県デザインセンターのデザインコーディネーターを経て、2021年よりフリーランス。NPO法人玉里しみじみの村理事長、文化デザイナー学院教育課程編成委員会委員。

応募期限

2021年 **8月17日** (火)

募集者数 3事業者

参加費用 無料

応募方法

参加申込書(QRコードからダウンロード可)に必要事項を記載の上、商品パッケージの写真画像を添えて、下記問合せ先へメールでご提出ください。



## 相談のスケジュール

市民モニターによるアンケート

**9/1水 - 9/12日**

既存商品のパッケージデザインに関してWebアンケートを実施し、市民からの感想や意見を聴取します。

専門家との個別相談

**9/29水**

Webアンケートの結果や抱えている課題に関して、専門家に相談し、アドバイスをいただきます。

専門家からのアドバイスシートによるフィードバック

**10月**

アンケート結果や相談した内容を踏まえ、最終的に専門家からアドバイスシートによるフィードバックをいただきます。

## 応募要件

- (1) つくば市内に本店または事業所を有する中小企業または個人で、物産品デザインの課題解決や見直し等を検討している事業者。
- (2) 市税の滞納がないこと。

問合せ先 **つくば市産業振興課**

〒305-8555  
茨城県つくば市研究学園1-1-1

TEL:029-883-1111(代表) (内線6367)  
E-mail:eco051@city.tsukuba.lg.jp

# TSUKUBA 創業 MARKET

10/8(Fri)・9(Sat)・10(Sun)

@イーアスつくば  
開催時間 10:00-16:00  
(荒天時はイーアスコートにて縮小開催)

つくば市の支援を受けて市内に創業したお店や、つくば市内で創業を目指す方による「チャレンジショップ」を出店！ぜひ、お立ち寄りください。



- 1 (株)つくばドリームコム**  
難聴者向け骨伝導イヤホン、完全ワイヤレス音楽用イヤホン、どこでもスピーカー等の骨伝導製品の試聴・販売
- 2 ライノアート・ギャラリー**  
窯元に直接発注して作ったオリジナルの食器を中心とした笠間焼、美濃焼の食器の販売
- 3 be a good friend**  
オーガニックスパイス、職人技の調味料、輸入ワインの販売

- 4 AIMART**  
インスタント食品、調味料、スナック等のベトナム食材販売
- 5 マンマビレッジ**  
ドライフルーツ及びジャムの販売  
無料カラダ診断
- 6 こうのとりにベビーウェアリング**  
海外製のベビーラップやリングスリングなど乳幼児用の抱っこ紐の体験と販売

- つくば創業マーケット  
【出店者一覧】
- 7 チャレンジショップ①**  
**Bonne chance**  
ハンドメイド作品の販売
  - 7 チャレンジショップ②**  
**森と海のおべんとう**  
有機野菜を使ったお弁当販売
  - 7 チャレンジショップ③**  
**Printanière**  
焼き菓子の販売(10日のみ出店)

# SHOP LIST



(株)つくばドリームコム



7日間貸出します(無料)

つくばドリームコムは新しいリスニングスタイルをご提供します。耳の聞こえにお悩みの方に「骨伝導イヤホン」を！

鼓膜ではなく耳骨を通して音を聞きます/耳を塞がないので閉塞感がなく、ムレもありません/突発音や雑音が気になりません



ライノアート・ギャラリー



茨城の地場産業である笠間焼や、普段使いにぴったりな美濃焼の食器を、問屋を入れず現地の窯に形や色などをオーダーすることで、買いやすいお値段設定を実現しました。食卓に華やかな彩りを添えられれば幸いです。



be a good friend



「幸せな食卓で未来を明るくする」という理念のもと、ひとつひとつ個性やドラマがあるプロダクトの流通を通じ、日々の暮らしに幸せの種を蒔いていきたいと思っています。



AIMART



生フォー、生春巻きをはじめとするベトナム食材や調味料の販売を行います。食品及び食材の提供を通じて、4000年に渡ったベトナム文化を紹介できればと思います。是非ご利用くださいませ。



マンマビレッジ



述べ2000人以上のダイエットや健康作りのサポート経験を持つ筑波大学院出身パーソナルトレーナーと、15年以上の野菜ソムリエのキャリアを持ち、メディア掲載多数の料理教室講師が、皆様の健康的な習慣作りをサポートします。



こうのとりにベビーウェアリング



あまり普段見かけないタイプのベビーラップとスリング、ベビーラップ素材でできた様々な抱っこ紐やおんぶ紐の体験と購入ができます。色や柄も多数ご用意してお待ちしています。

チャレンジショップ①



Bonne chance



ハンドメイドで作ったフラワーBOXや、お花飾りのついた手鏡や小物入れなどを販売します。1点1点違う作品の中から、是非お気に入りの一品を見つけてください。  
※出店は9日、10日のみ

チャレンジショップ②



森と海のおべんとう



「安心安全・おいしい・たのしい」を大切に、つくばのオーガニック旬野菜、厳選素材や発酵調味料などを使用したお弁当を1つ1つ、心を込めて手作りいたします。野菜たっぷり8~10種のおかずで、栄養バランスの取れたお弁当をお届けします！

チャレンジショップ③



Printanière



つくば市内で今後焼き菓子専門店の出店を目指しています。できる限りシンプルな素材を使用し、素朴ながらも味わいの違う5種類の焼き菓子を詰め合わせました。  
※出店は10日のみ

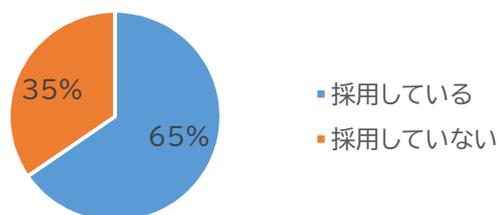
※数に限りがある商品もございます。売り切れの際はご容赦ください。

## 体育学部・芸術学部出身学生の採用に関するアンケート

つくば市内に事業所を構えている884社に対し、アンケートを行い、26社から回答があった。26社のうち体育学部・芸術学部出身の学生を採用したところは65%を占めていたが、採用したい・採用を検討している企業は全体の30%未満だった。既に採用枠がある、もしくは採用枠を検討する企業は全体の76%だった。

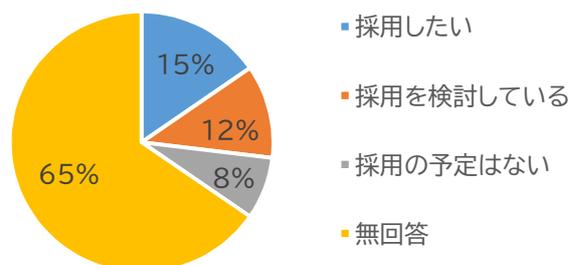
### 体育学部・芸術学部出身等の学生を採用していますか

項目	回答数	割合
採用している	17	65%
採用していない	9	35%
計	26	100%



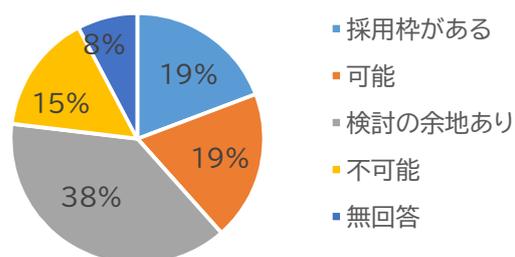
### 体育学部・芸術学部出身等の学生を採用したいと思いますか

項目	回答数	割合
採用したい	4	15%
採用を検討している	3	12%
採用の予定はない	2	8%
無回答	17	65%
計	26	100%



### 体育学部・芸術学部出身等の学生用採用枠がある、もしくは新たに採用枠を設けることができますか

項目	回答数	割合
採用枠がある	5	19%
可能	5	19%
検討の余地あり	10	38%
不可能	4	15%
無回答	2	8%
計	26	100%



## 就職フェア出展企業の採用に関するアンケート

つくば市オンライン就職フェア出展企業45社に対し、アンケートを行い、40社から回答があった。採用対象として回答が多かったのは、「大学等新卒者」、「既卒・第二新卒者」、「35歳までの若手転職者」の順となっており、外国人材(留学生)やシニア転職者、定年退職者は回答数が少なかった。多様な人材の雇用状況は、定年退職者の割合が最も高く、外国人材も一定数あることが分かった。

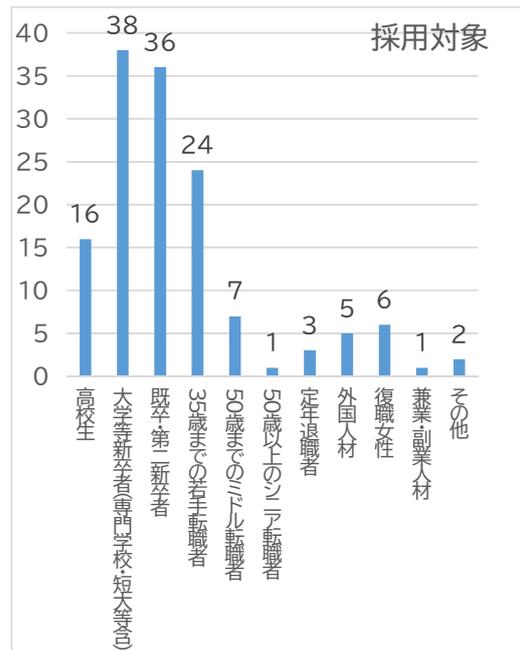
### 貴社の採用対象を教えてください。(複数回答)

項目	回答数	割合
高校生	16	40%
大学等新卒者(専門学校・短大等含)	38	95%
既卒・第二新卒者	36	90%
35歳までの若手転職者	24	60%
50歳までのミドル転職者	7	18%
50歳以上のシニア転職者	1	3%
定年退職者	3	8%
外国人材	5	13%
復職女性	6	15%
兼業・副業人材	1	3%
その他	2	5%
計	139	

#### その他詳細

同じ業界からのキャリア採用  
大学院生

1  
1



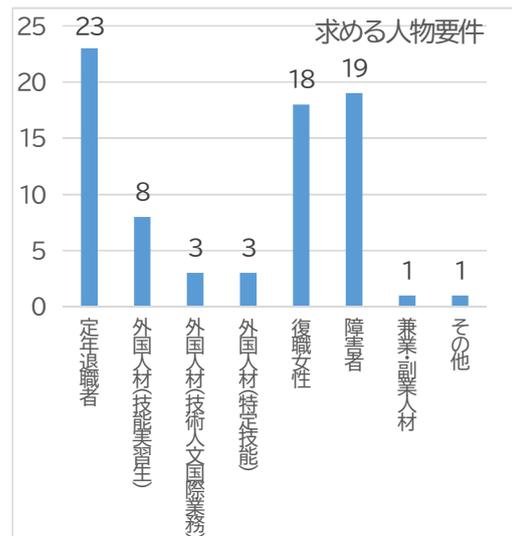
### 貴社における多様な人材の雇用状況をお教えてください。(複数回答)

項目	回答数	割合
定年退職者	23	58%
外国人材(技能実習生)	8	20%
外国人材(技術人文国際業務)	3	8%
外国人材(特定技能)	3	8%
復職女性	18	45%
障害者	19	48%
兼業・副業人材	1	3%
その他	1	3%
計	76	

#### その他詳細

該当なし

1



### 工業団地内企業への事業スペース・用地等のニーズ調査結果

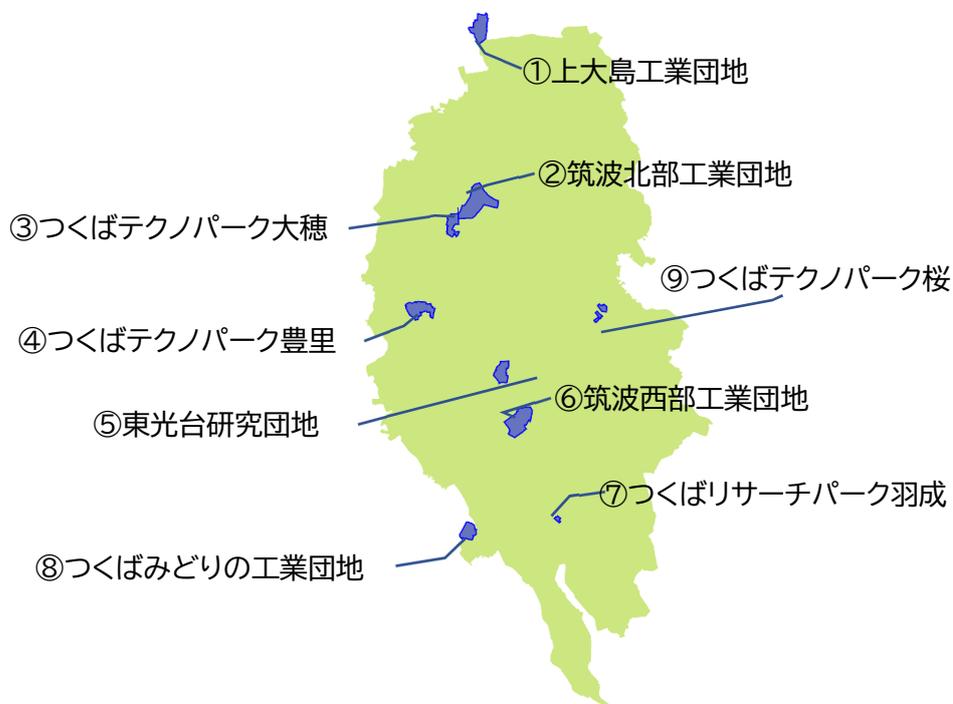
市内に9つある工業団地内に立地している企業に対し、事業スペース・用地等のニーズ調査を行った。その結果、現在の立地環境や今後の事業展開、新規立地の選定条件等を知ることができた。

現在の立地環境の評価として高かった項目は、高速道路の利用条件や首都圏からのアクセスの良さと試験研究機関の集積による産学官連携などがあげられており、回答企業の多数が、現在の立地環境に概ね満足していることが分かった。

各企業の今後の事業展開として、技術開発拠点の設置・拡充、技術者の増員などにあたる「技術開発力の強化」と、生産設備や要員の増強にあたる「自社生産の拡大・強化」の項目にチェックしている企業が多く、今後の展開として敷地内および敷地周辺で設備の増築若しくは施設の増築を検討していることが分かった。

各企業が立地先の選定に際し、重視する条件として最も回答が多かったのは「人材・労働力の確保」、次いで「本社・他の自社工場への近接性」と分かった。

## 調査対象 つくば市工業団地に立地の企業



### 工業団地別回収状況

団地	①上大島	②北部	③大穂	④豊里	⑤東光台	⑥西部	⑦羽成	⑧みどりの	⑨桜
発送数 (通)	22	13	14	30	33	18	5	13	5
回収数 (通)	6	6	3	13	13	9	3	8	4
回収率 (%)	27.3 %	46.2 %	21.4 %	43.3 %	39.4 %	50%	60%	61.5 %	80%

## 調査結果

### (1) つくば市の立地環境に関する評価

回答結果の傾向は団地ごとにあまり差は無く、評価が高い項目に関してはつくば市の強みとして今後の産業用地の確保や企業誘致の際のアピールポイントとなる。

評価が低い項目に関して、経済部門では「外注・協力企業や調達先企業の確保」、「異業種との連携・協力」、「ものづくり技能者の確保」に関する施策、まちづくり部門では「都市・生活基盤の充実」に関する施策が必要になってくると考えられる。

## 【質問事項】

つくば市を企業の立地環境(立地操業地)として見た場合の評価できる条件について(1)～(4)の区分ごとに、該当する項目にチェックマークを御記入ください。  
[複数回答あり]

## 【回答結果】

<p>交通・輸送条件、交通アクセス条件</p> <p>1位 高速道路の利用条件の良さ 37.7%</p> <p>2位 首都圏とのアクセスの良さ 33.1%</p> <p>3位 在来鉄道の利用条件の良さ 26.9%</p> <p>4位 その他 2.3%</p>	<p>事業環境・産業支援基盤</p> <p>1位 試験研究機関の集積による産学官連携 36.0%</p> <p>2位 多様な企業間の連携・協力 20.2%</p> <p>3位 顧客企業や地域市場の確保 16.9%</p> <p>4位 外注・協力企業や調達先企業の確保 13.5%</p> <p>5位 異業種との連携・協力 7.9%</p> <p>6位 その他 5.6%</p>
<p>労働力・人材の確保条件</p> <p>1位 開発・技術部門での専門的人材の確保 28.4%</p> <p>2位 地元採用人材の定着の良さ 28.4%</p> <p>3位 製造・現業部門での一般作業者の確保 22.7%</p> <p>4位 その他 11.4%</p> <p>5位 製造部門でのものづくり技能者の確保 9.1%</p>	<p>都市・生活環境</p> <p>1位 良好な住宅・居住環境 29.2%</p> <p>2位 自然災害が少なく、安心安全な暮らし 27.7%</p> <p>3位 都市的機能・サービスが充実 24.8%</p> <p>4位 都市・生活基盤が充実 17.5%</p> <p>5位 その他 1.0%</p>

図表 1 つくば市の立地環境に関する評価

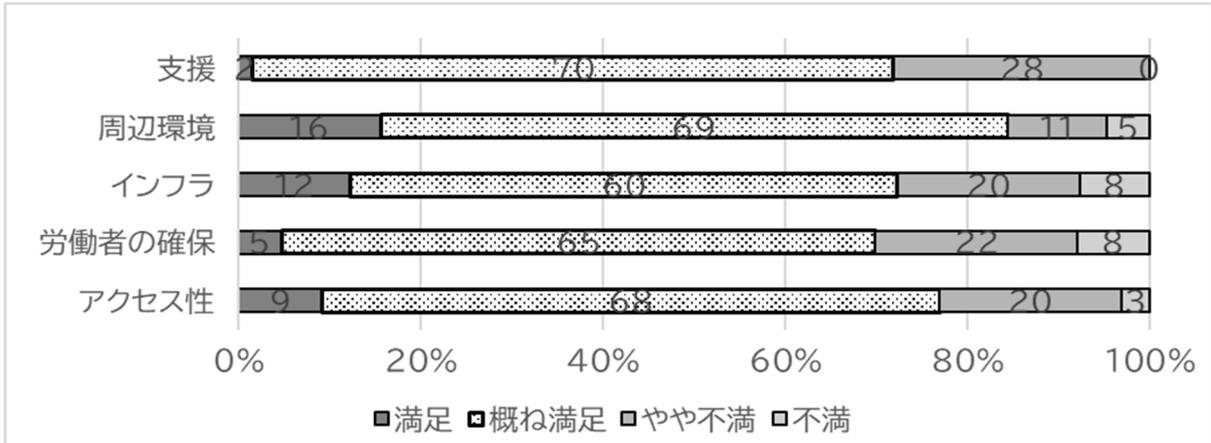
## (2) 各企業の立地環境に対する評価について

全体的に各項目に関して、「概ね満足」との回答が多かった。支援に関しては「満足」とする回答が少なかったため、具体的に企業がどのような支援を求めているかの把握が今後の課題である。

**【質問事項】**

貴社の立地環境に対する評価について  
該当する項目【満足、概ね満足、やや不満、不満】に○印を御記入ください。

**【回答結果】**



図表 2 各企業の立地環境に関する評価

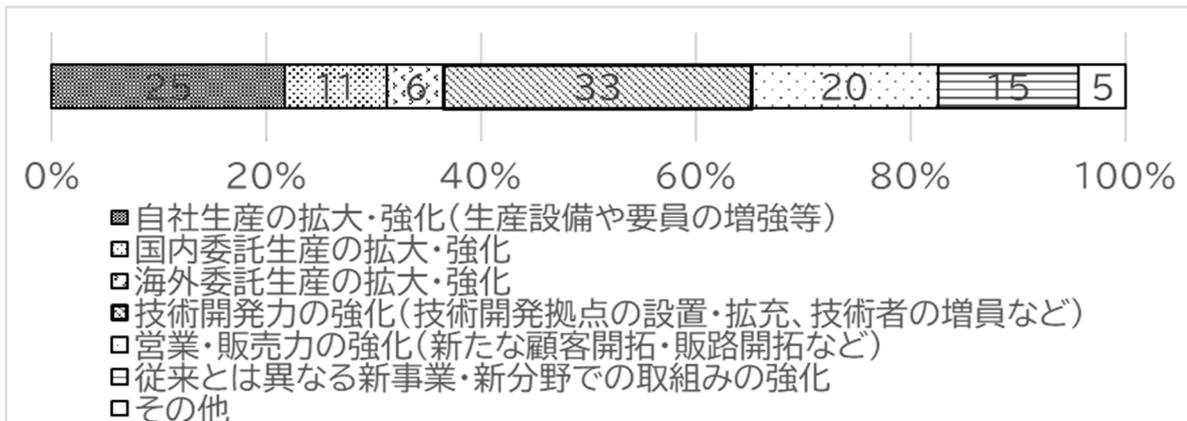
**(3) 各企業の今後の事業展開について**

最も回答が多かったのが「技術開発力の強化」、次いで「自社生産の拡大・強化」。研究開発に関する支援や自社生産の拡大のための設備投資に関する支援が市内既存企業にとって重要になってくると考えられる。

**【質問事項】**

貴社の今後の事業展開について該当する項目にチェックマークを御記入ください。【複数回答あり】

**【回答結果】**



図表 3 各企業の事業展開

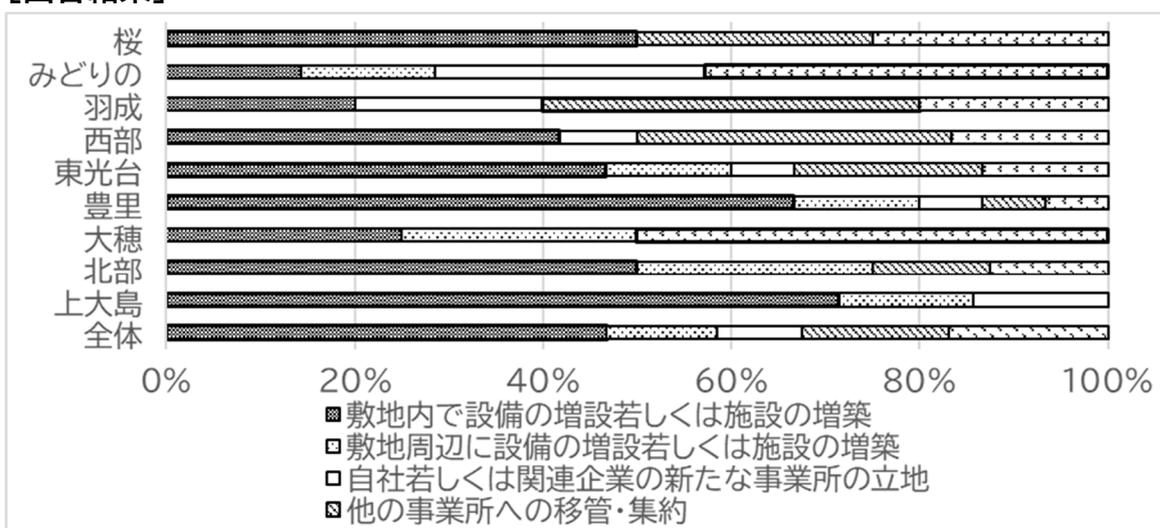
#### (4) 事業展開に伴う、設備・施設面の対応の想定について

全体の回答として最も多かったのが「敷地内で設備の増設若しくは施設の増築」。回答傾向が工業団地ごとに異なったため、団地ごとの回答も掲載した。

##### 【質問事項】

上記の事業展開に伴う、設備・施設面の対応の想定について該当する項目にチェックマークを御記入ください。【複数回答あり】

##### 【回答結果】



図表4 設備・施設面の対応

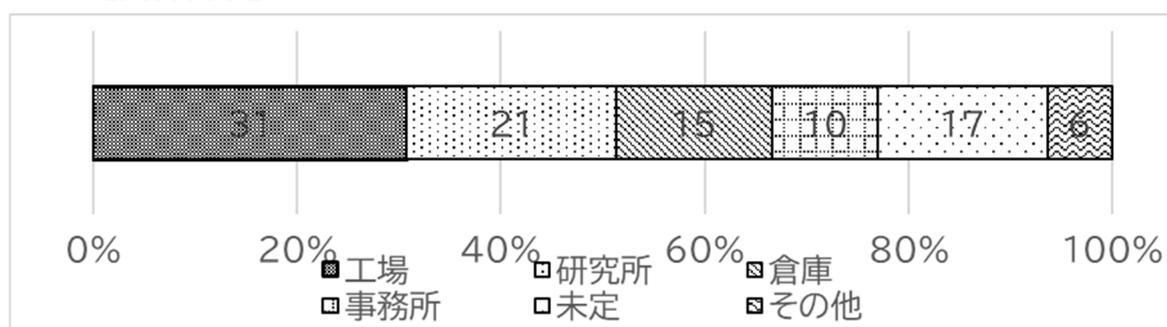
#### (5) (4)に想定される施設について

最も回答が多かったのが「工場」、次いで「研究所」。各企業の製造および研究開発の事業拡大を想定しているものと思われる。現在の敷地以外に立地する場合は工業専用地域では可能だが、市街化調整区域では都市計画法による許可が必要になる。

##### 【質問事項】

(4)に想定される立地施設について該当する項目にチェックマークを御記入ください。【複数回答あり】

##### 【回答結果】



図表5 立地施設

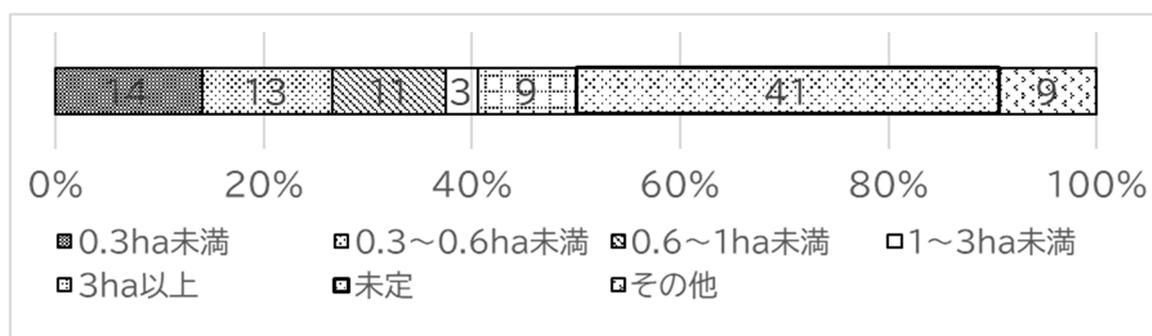
### (6) (4)に想定される敷地面積について

最も回答が多かったのが「未定」、次いで「0.3ha未満」。大きく敷地を必要とする既存の市内企業はあまり無い。未定と回答の企業に関しては、具体的な計画までは未だ無いと思われる。

#### 【質問事項】

(4)に想定される事業所全体の敷地面積について該当する項目にチェックマークを御記入ください。[複数回答あり]

#### 【回答結果】



図表 6 敷地面積

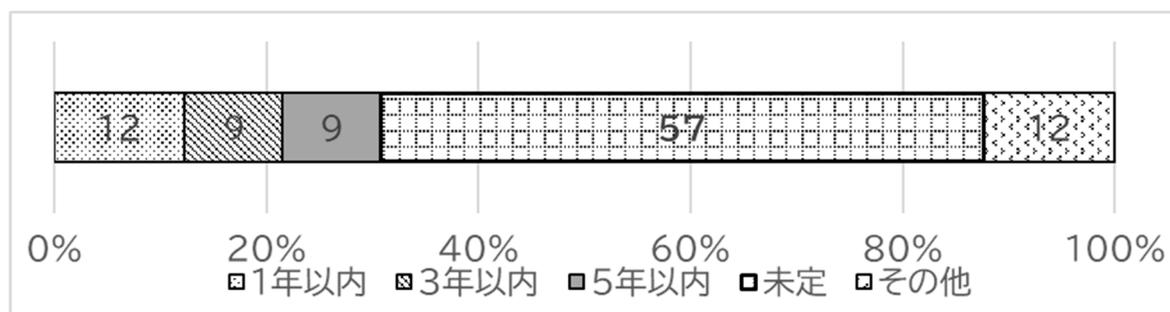
### (7) (4)に想定される計画時期について

最も回答が多かったのが「未定」、次いで「1年以内」と「その他」。「未定」と回答の企業に関しては、具体的な計画までは未だ無いと思われる。

#### 【質問事項】

(4)に想定される立地計画時期について該当する項目にチェックマークを御記入ください。[複数回答あり]

#### 【回答結果】



図表 7 立地計画時期

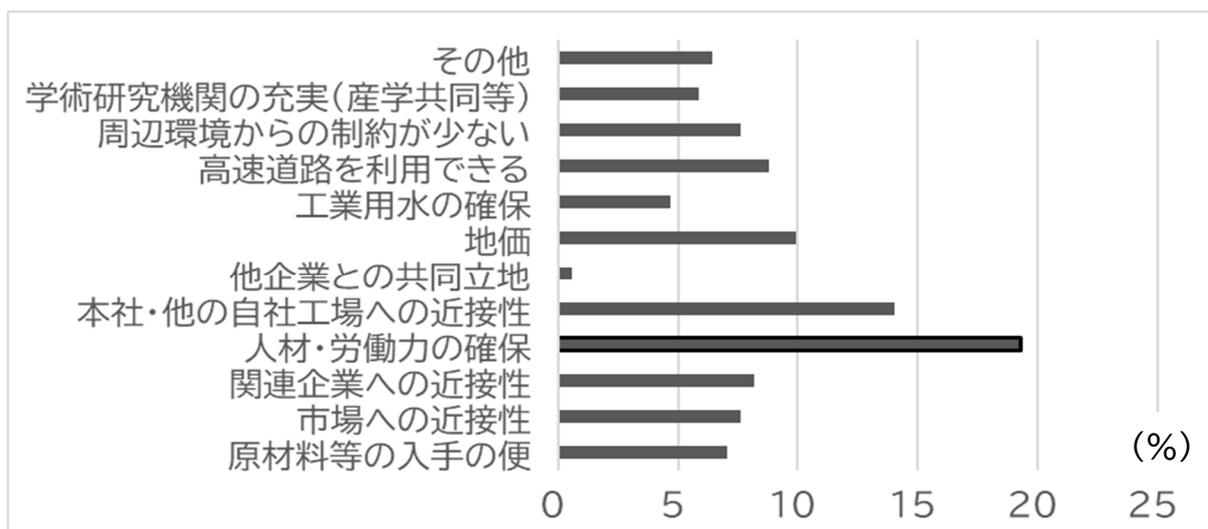
### (8) 立地先の選定に際し、重視する条件について

最も回答が多かったのが「人材・労働力の確保」、次いで「本社・他の自社工場への近接性」。各企業が求める立地先の重視する条件としては、つくば市は県内第2位の人口を有し、また国立大学筑波大学があることで優秀な人材も集まってくることから、立地の条件としては有利となっていると考えられる。

#### 【質問事項】

新たな事業所の立地先の選定に際して、重視する条件について該当する項目にチェックマークを御記入ください。[複数回答あり]

#### 【回答結果】



図表 8 立地選定の重視する条件

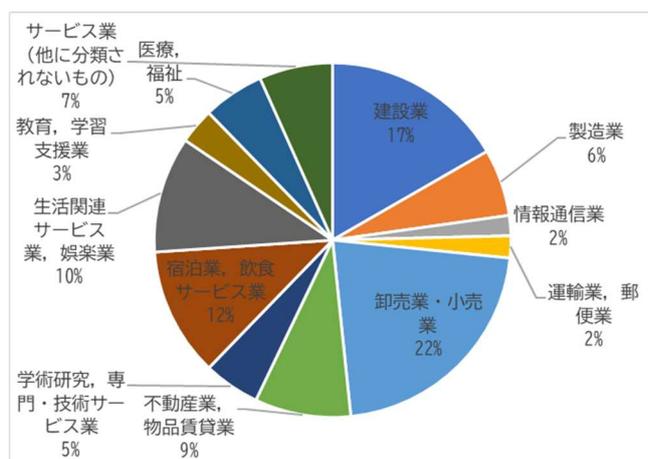
## 事業承継アンケート補足資料

### アンケート送付先分類

○経済センサスデータより取得した市内事業者のデータから、一部分類を除外したうえで、支店や営業所等の記載があったものを除外した 4925 社の業種分類

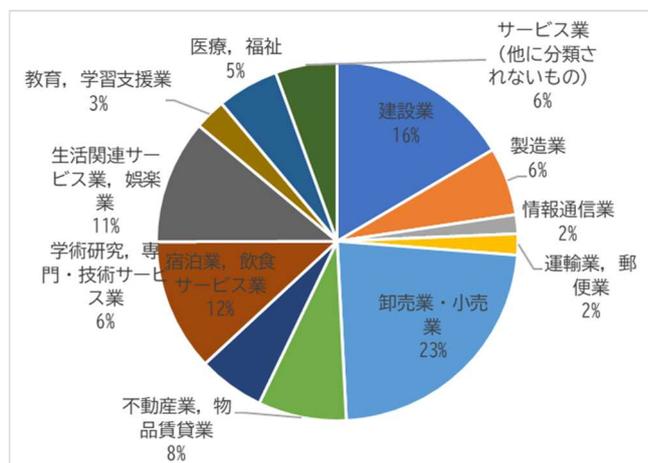
※除外した分類は以下のとおり

農業、林業、漁業、工業、採石業、砂利採取業、電気・ガス・熱供給・水道業、金融業・保険業、複合サービス事業、公務、分類不能の産業



産業大分類	事業所数
建設業	820
製造業	301
情報通信業	91
運輸業、郵便業	99
卸売業・小売業	1071
不動産業、物品賃貸業	429
学術研究、専門・技術サービス業	252
宿泊業、飲食サービス業	578
生活関連サービス業、娯楽業	522
教育、学習支援業	160
医療、福祉	274
サービス業(他に分類されないもの)	328
計	4925

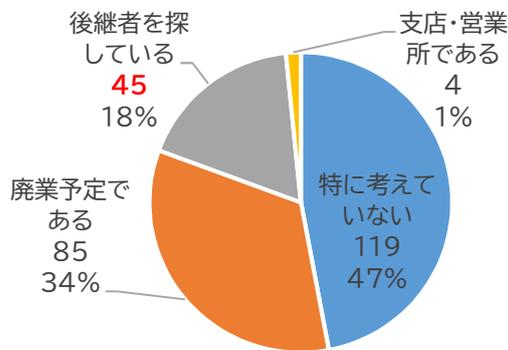
### ○上記から無作為抽出し、アンケートを追加送付した 2100 社の業種分類



事業大分類	事業所数
建設業	346
製造業	129
情報通信業	36
運輸業、郵便業	40
卸売業・小売業	482
不動産業、物品賃貸業	166
学術研究、専門・技術サービス業	125
宿泊業、飲食サービス業	250
生活関連サービス業、娯楽業	235
教育、学習支援業	59
医療、福祉	116
サービス業(他に分類されないもの)	116
計	2100

## 現在後継者を探している事業者に関する分析

### ○後継者未定事業者の後継者状況について

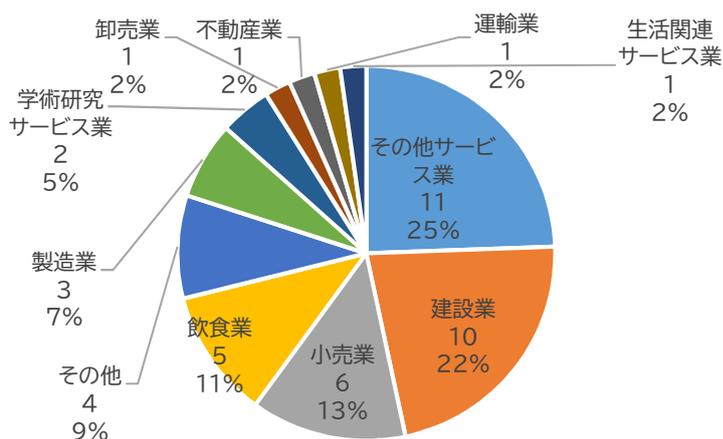


後継者未定事業者 253 名のうち後継者を探していると答えた事業者は 45 名(18%)となった。

このうち 15 名が、市からの連絡を希望しており、うち1件ヒアリング対応済。

以下、後継者を探している 45 件の分析。

### ○業種

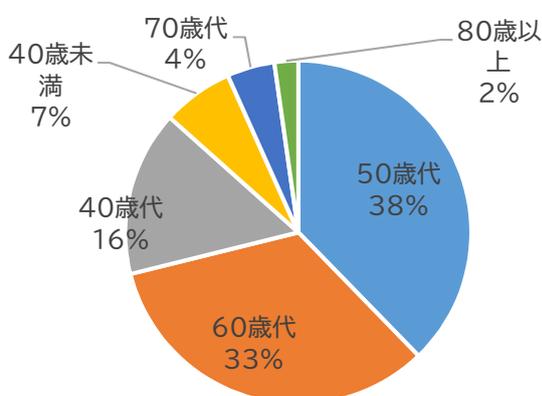


後継者を探している事業者についてはサービス業、建設業、小売業、飲食業で全体の 70%を占める。

**後継者を探している事業者の業種はサービス業、建設業、小売業が多い**

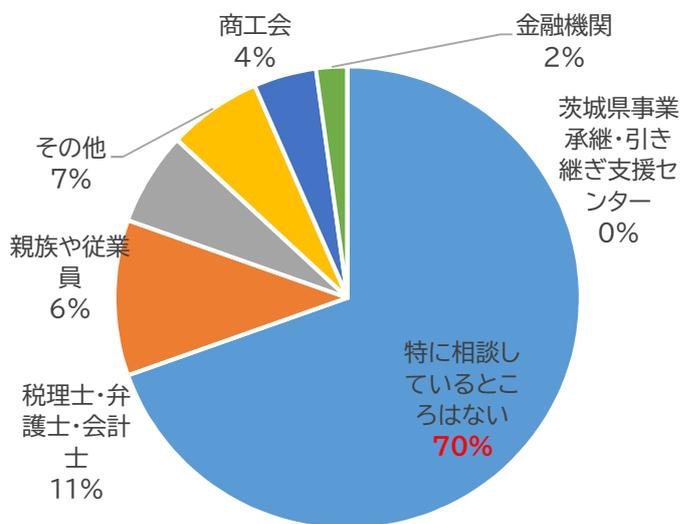
その他サービス業の例:内装工事業、自動車整備業、清掃業、電気工事業等

### ○代表者の年齢



5～60 歳代で全体の 71%を占めている。今後この年齢層が引退の年齢を迎えた時に後継者が見つかっていない場合、廃業してしまう可能性が高い。培われた技術や雇用の喪失を防ぎ、地域経済を持続的に発展させるために、後継者の見つかっていない事業者の支援を行っていくことは重要である。

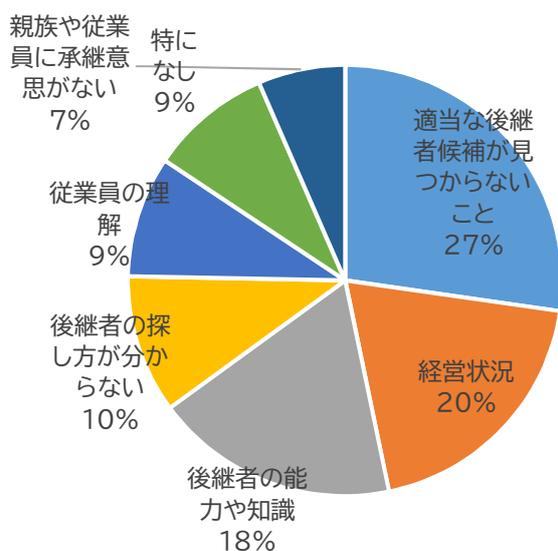
### ○後継者を見つけるための相談先



後継者を探してはいるが、具体的に相談している場所がない事業者が全体の70%を占める。このことから、市役所に専門家相談窓口を設置し、事業者の課題を掘り起こしや適切な専門機関に繋ぐことには大きな意義があると思われる。

**後継者を探している方であっても専門機関等へ相談している事業者は少ない**

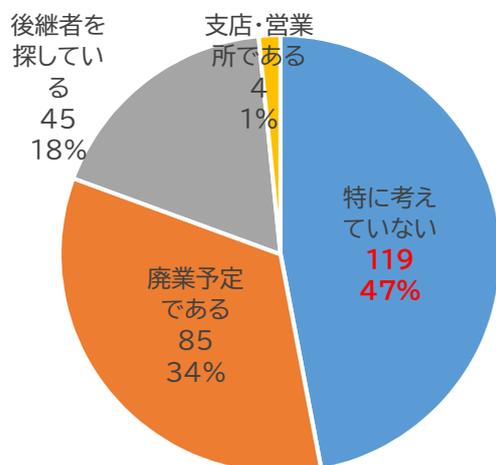
### ○後継者を探すうえでの課題や懸念



適切な候補者が見つからないことを課題に挙げている事業者が27%、経営状況に課題がある事業者が20%となった。専門機関に相談している件数が少ないことも考えると、個別相談窓口の設置や、専門機関への案内は課題解消への一定の効果期待できる。

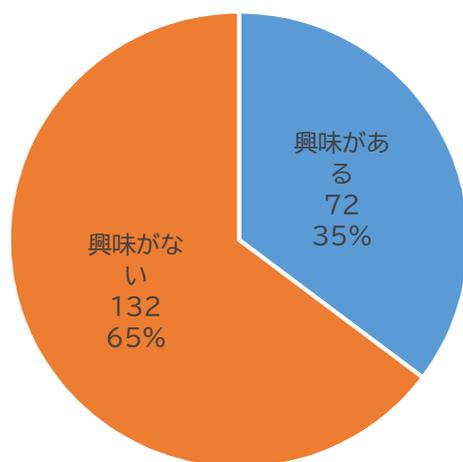
## 現在承継について考えていない or 廃業予定の事業者に関する分析

### ○後継者未定事業者の後継者状況について



後継者について特に考えていないと答えた事業者が 47%となった。経営状況など直近の課題に比べ、後継者問題は先送りにされがちであるが、事業承継は一朝一夕に出来るものではなく、早めに専門家や親族に相談し承継計画を立てていく必要がある。後継者未定事業者であっても現在、後継者について特に考えていない事業者は多い

### ○廃業予定もしくは後継者について特に考えていないと答えた方の事業承継への興味



廃業予定もしくは後継者について特に考えていないと答えた事業者であっても、事業承継に興味があると答えた事業者は 35%となっており、事業承継について前向きな視点を持っている事業者も多い。

廃業予定や特に考えていない事業者の中にも承継に興味がある方が一定数いる

# 1 令和3年度緊急経済支援事業実績

(12月28日時点)

事業 番号	事業名	制度内容	実績見込	現予算 (千円)	支出見込額		事業期間																					
					執行率	開始	終了																					
1	緊急支援給付 金事業	<p><b>【目的】</b> 事業者支援による感染拡大防止と当該事業者の早期事業再開</p> <p><b>【概要】</b> 従業員が罹患し、事業収入が5割以上減少した中小法人、個人事業主への給付制度</p> <p>◆交付額：中小法人 200千円 個人事業者 100千円</p>	<p>申請件数：10件 (個人：6件、法人：4件)</p>	1,500	1,400	93.3%	4月1日	3月31日																				
2	雇用促進支援 事業（雇用促進 交付金）	<p><b>【目的】</b> 景気減速により新規雇用を躊躇する市内企業の雇用意欲の喚起と市民の雇用確保</p> <p><b>【概要】</b> 失業した市民や学生を新規雇用する事業者への交付金制度</p> <p>◆一般型交付額（1事業者最大1,000千円） 無期雇用：1名につき最大200千円 有期雇用：1名につき最大100千円</p> <p>◆学生型交付額（1事業者最大1,000千円） 週10時間以上：1名につき最大100千円</p> <p>◆8月4日制度拡充 ひとり親：有期雇用1名につき最大150千円 学生：週5～10時間1名につき最大50千円</p>	<p>申請件数：145件 (中小法人：137件、大法人：8件)</p> <p>申請事業者数：112者【+27】 (中小法人：106者、大法人：6者)</p> <p>雇用人数：289人【+74】</p> <table border="1"> <tr> <td>内訳</td> <td>常勤</td> <td>非常勤</td> <td>学生</td> <td>小計</td> </tr> <tr> <td>男</td> <td>39人</td> <td>14人</td> <td>81人</td> <td>134人</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>32人</td> <td>34人</td> <td>89人</td> <td>155人</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>71人</td> <td>48人</td> <td>170人</td> <td>289人</td> </tr> </table> <p>8月4日制度拡充後の雇用状況 ひとり親：3人 週5～10時間学生：40人</p>	内訳	常勤	非常勤	学生	小計	男	39人	14人	81人	134人	女	32人	34人	89人	155人	小計	71人	48人	170人	289人	34,000	33,500	98.5%	4月1日 (改正) 8月4日	3月31日
内訳	常勤	非常勤	学生	小計																								
男	39人	14人	81人	134人																								
女	32人	34人	89人	155人																								
小計	71人	48人	170人	289人																								

事業 番号	事業名	制度内容	実績見込	現予算 (千円)	支出見込額		事業期間	
						執行率	開始	終了
3	販路拡大支援 事業（中小企 業等販路拡大 補助金）	<p><b>【目的】</b> 市内事業者の販路拡大による経営力強化と市内発注効果による経済循環</p> <p><b>【概要】</b> 非対面型への転換などの感染症対策を含む販路拡大に取組む事業者への補助制度</p> <p>◆補助額：中規模事業者最大1,000千円 (下半期=500千円) 小規模事業者最大 500千円</p> <p>◆補助率：市内本店企業への発注経費：10/10 (下半期=9/10) 市外本店企業への発注経費：最大3/4</p>	<p>上半期申請件数：65件 (中規模：12件、小規模：53件) (市内本店：54件、市外本店：11件)</p> <p>下半期申請件数：55件【+46】 (中規模：3件、小規模：52件) (市内本店：49件、市外本店：6件)</p> <p>コンサル中の件数：7件</p>	80,000	63,438	79.3%	4月1日	<p>上半期 申請締切 6月30日</p> <p>下半期 申請締切 1月31日</p>
4	経営支援ワ ンストップ窓 口事業	<p><b>【目的】</b> 個々の市内事業者に適した経営支援と市内事業者のニーズの把握</p> <p><b>【概要】</b> 国や市の経営支援制度の案内・相談及び専門家によるコンサルティング</p> <p>◇案内相談窓口開設：週5日 ◇コンサルティング窓口開設：週3→5日 (補正予算、商工会応援により増日)</p>	<p>相談実績（開設日数183日間）</p> <p>窓口相談 876件 平均4.8件/日 電話相談 1,870件 平均10.2件/日 mail相談 409件 平均2.2件/日 専門相談 717件 平均3.9件/日 計 3,872件 平均21.2件/日</p> <p>満足度（窓口相談・専門相談） 5段階評価で5の割合：82.7% (昨年度の満足度：83.1%)</p>	9,390	9,294	99.0%	4月1日	3月31日

事業 番号	事業名	制度内容	実績見込	現予算 (千円)	支出見込額		事業期間	
						執行率	開始	終了
5	タクシー事業者支援事業 (タクシー買物代行業業)	<p><b>【目的】</b> 収益悪化が著しいタクシー事業者の売上確保と買物不安を抱える市民の利便性向上</p> <p><b>【概要】</b> 市民から依頼された買物と自宅配送を行うタクシー事業者への補助制度 ◇対象者：市内タクシー事業者 ◇補助額：買物代行1回当たり2千円</p>	<p>買物代行実績：93件 つくばスタイル店：58件 ライフガーデンみどりの店：1件 スギ薬局：30件 コメリ東店：3件 コメリ西店：1件</p>	2,495	186	7.5%	4月1日	3月31日
6	自動車運転代行業者及び貸切バス事業者支援金	<p><b>【目的】</b> 自動車運転代行業者及び貸切バス事業者の事業継続を支援し、市民生活を支える移動手段の維持</p> <p><b>【概要】</b> 市内に主たる事業所を有し、R3.8.19現在で事業の許認可を受けている事業者 ◆交付額：一律200千円+車両数×20千円</p>	<p>申請件数：39件 運転代行業者24件/28件 貸切バス事業者15件/15件</p>	14,000	12,540	89.6%	10月4日	12月31日
7	営業時間短縮要請等関連事業者支援一時金	<p><b>【目的】</b> 国・県の時短・外出自粛要請等の影響を受け、売上が著しく減少した市内中小法人の経営安定化</p> <p><b>【概要】</b> R3.4~6月の1月の売上が前年又は前々年の同月比で80%以上減少した中小法人等への支援金制度 ◆交付額：一律200千円</p>	<p>申請件数：169件 (個人：115件、法人：54件)</p>	78,000	33,800	43.3%	10月11日	11月30日

事業 番号	事業名	制度内容	実績見込	現予算 (千円)	支出見込額		事業期間	
						執行率	開始	終了
R 2 繰越	ベビーポイント ギフト事業	<p>【目的】 出生世帯の生活支援、消費喚起及びキャッシュレス決済の普及促進</p> <p>【概要】 国の定額給付金の対象外となったR 2年度出生者への生活支援制度 ◇対象者：R2.4.28～R3.3.31に出生した市民 ◇交付額：キャッシュレスポイント30千円相当</p>	<p>対象出生者数：2,110人 交付済数：2,104人 音信不通者数：6人</p> <p>ポイント利用者数：2,077人（98.7%）</p>	3,388	2,200	64.9%	4月1日	9月30日
その他	広報宣伝事業	<p>【目的】 市独自制度の幅広い宣伝による周知徹底</p> <p>【概要】 市の情報ツールを活用した継続的な情報発信</p>	<p>事業案内チラシ：6,270枚郵送【+608】 法人市民税申告書同封 補助金等交付決定通知書同封 など</p> <p>つくば市報掲載：毎月 つくば市HP更新：随時 つくばファンクラブ掲載：10回</p>	0	0		4月1日	3月31日
令和3年度事業合計				222,773	156,358	70.2%		